

日本教育社会学会

The Japan Society of Educational Sociology

第 76 回大会プログラム

2024

2024年9月13日(金)・14日(土)

主催：一般社団法人 日本教育社会学会

共催：信州大学

目次

I インフォメーション

ご案内	02 頁
会場へのアクセス	07 頁
大会会場 構内案内図	08 頁
会場配置図	09 頁

II 大会日程・各種会合

大会日程・各種会合	12 頁
-----------	------

III プログラム

前日:9月12日(木)

若手研究者交流会	14 頁
----------	------

第1日目:9月13日(金)

研究発表 I (9:30~12:00)

I-1 方法論・分析法	15 頁
I-2 教育の歴史社会学	16 頁
I-3 教育問題・社会問題(1)	17 頁
I-4 ジェンダーと教育(1)	18 頁
I-5 高等教育:学生・キャリア(1)	19 頁
I-6 高等教育:制度・政策	20 頁
I-7 進路と教育(1)	21 頁
I-8 家族と教育	22 頁

ポスター発表部会(13:15~14:05)	23 頁
-----------------------	------

研究発表 II (14:20~16:20)

II-1 子ども・青少年	24 頁
II-2 初等・中等教育	25 頁

Ⅱ-3 教育問題・社会問題(2)	26 頁
Ⅱ-4 社会的公正と教育	27 頁
Ⅱ-5 社会階層と教育(1)	28 頁
Ⅱ-6 高等教育:学生・キャリア(2)	29 頁
Ⅱ-7 進路と教育(2)	30 頁
Ⅱ-8 教師(1)	31 頁
Ⅱ-9 異文化間教育	32 頁
Ⅱ-10 英語特設部会(1)	33 頁

研究発表Ⅲ(16:35~18:35)

Ⅲ-1 教育と相互行為	34 頁
Ⅲ-2 地域社会と教育(1)	35 頁
Ⅲ-3 教育問題・社会問題(3)	36 頁
Ⅲ-4 ジェンダーと教育(2)	37 頁
Ⅲ-5 社会階層と教育(2)	38 頁
Ⅲ-6 理論	39 頁
Ⅲ-7 進路と教育(3)	40 頁
Ⅲ-8 特別支援教育	41 頁
Ⅲ-9 情報通信と教育	42 頁
Ⅲ-10 英語特設部会(2)	43 頁

第2日目:9月14日(土)

研究発表Ⅳ(9:30~12:00)

Ⅳ-1 教育費	44 頁
Ⅳ-2 地域社会と教育(2)	45 頁
Ⅳ-3 不登校問題	46 頁
Ⅳ-4 グローバリゼーションと教育	47 頁
Ⅳ-5 社会階層と教育(3)	48 頁
Ⅳ-6 高等教育:教職員・カリキュラム	49 頁
Ⅳ-7 進路と教育(4)	50 頁
Ⅳ-8 教師(2)	51 頁

課題研究(13:00~16:00)

Ⅰ 教員養成における教育社会学の困難を乗り越える	52 頁
Ⅱ オープンサイエンスと研究倫理をいかに両立させるか	53 頁

I インフォメーション

ご案内

1. 会場

信州大学長野(教育)キャンパス

〒380-8544 長野県長野市西長野 6 の口

*会場は善光寺近くにある教育学部のキャンパスです。

同じく長野市内にある工学部のキャンパスとは異なりますのでご注意ください。

2. 大会情報・連絡先

最新の情報(詳細な情報や修正事項を含む)は、大会ウェブサイト(<https://jses-web.jp/conference/76>)にて随時更新しています。また、今大会は大会運営業務をコムラ社に委託しています。お問い合わせは、下記の運営事務局にお願いします。

<問い合わせ先>

日本教育社会学会第76回大会運営事務局 E-mail: jses76@kohmura.co.jp

(お問い合わせ等は、メールにてお願いいたします)

3. 参加資格

大会に参加するためには、学会ウェブサイト内の「次回大会・参加/発表申し込み」から事前に申し込み、大会参加費をお支払いいただくことが必要です。非会員の方も臨時会員としての申し込みが可能です。期限後の大会参加申し込みも可能ですが、その場合には期限後として設定された参加費となりますので、お気をつけください。

大会参加申し込み期間:2024年5月7日(火)から8月23日(金)18時まで

<大会参加費>		一般	学生	税区分
期限内 申し込み	会員	5,000円	3,000円	不課税
	臨時	5,500円	3,500円	10%税込み
期限後 申し込み	会員	7,000円	5,000円	不課税
	臨時	7,500円	5,500円	10%税込み

- (1) 大会参加費等の支払いは、クレジットカードによる「オンライン決済」もしくは「銀行振込」のいずれかとなります。**8月23日(金)の期限内**に申し込みと決済の手続きをお済ませください。ただし、支払いは極力「オンライン決済」をご利用ください。なお、期限後の支払いについては「オンライン決済」のみとさせていただきます。当日会場でも、オンライン決済によるお支払いのみ受け付け可能です。学会大会当日の大会会場での現金による参加費の受付は行いません。
- (2) 申し込み時に、会員番号(ID)の入力が必要となります。学会からの郵送物の宛名の下に掲載されている番号となります。会員番号(ID)・パスワードがご不明の際は、参加申込システム等の「ログインできない方はこちら」より再取得が可能ですが、対応にお時間をいただくことがありますので余裕をもってご確認願います。
- (3) 一般/学生の会員種別について、学会ウェブサイトの「会員情報管理システム」において、最新の情報に更新してください。

- (4)「臨時(学生)」には、学部学生が含まれます。
- (5)入会申込中の方は臨時会員としてご登録いただきます。ただし、5 月半ばごろまでに入会申込を完了された方は 6 月下旬には入会が承認されている可能性があり、それ以降は会員としての扱いとなります。
- (6)大会参加費について、会員(学生)は会員(一般)よりも 2,000 円減額されています。この減額分には、学会による大会参加負担軽減措置としての 1,000 円分が含まれています。
- (7)大会参加の申し込み・参加費支払いが完了すると、ご指定のメールアドレスに受領メールを送信します。メールが受信できていない場合、手続きが完了していない可能性があります。必ずご確認ください。なお、オンライン決済以外による参加費のお支払いの場合は、ご入金確認に 2,3 営業日程度を要します。
- (8)領収書は「大会参加申込システム」上から PDF ファイルで取得できます。大会参加費について、会員は不課税、臨時会員は税込です。
- (9)決済完了後の返金はいたしません。

4. 発表時間

【一般部会,英語特設部会】

発表時間は、発表者の人数によって下記のようになります。

1 名……発表者 20 分+質疑応答 5 分

2 名以上……発表 40 分+質疑応答 10 分

発表終了 5 分前に 1 鈴、終了時刻に 2 鈴、質疑応答終了時刻に 3 鈴の合図をします。発表時間は厳守願います。

一部の部会では、プログラムを決定した理事会(6 月 23 日)以降に発表取り消しが生じたことなどにより、総括討論の時間が長くなっています。当該の部会では司会の判断により、終了時刻を調整してください。

【ポスター発表部会】

(1)ポスター発表部会の発表者は、9 月 13 日(金)12:00~12:15 に図書館棟 2 階講義室で、指定された掲示板(23 頁に記載の P1~P14 のボード)にポスターを掲示してください。

(2)ポスター発表部会の会場である図書館棟 2 階講義室は、12:15~13:15 は事業報告会、学会奨励賞授賞式で使用しますので、ポスター発表やその準備をすることはできません。

(3)ポスター発表の時間は 13:15~14:05 の 50 分間で、この間を責任在席時間とします。責任在席時間中は在席し、研究内容の説明と質疑に応じてください。

(4)14:05 になりましたら速やかに発表を終了し、掲示したポスターを片付けてください。

(5)発表者が欠席した場合や責任在席時間にはいない場合は「発表取消」となります。

5. 発表要旨集録

発表要旨集録は参加費をお支払い済みの方のみ、9 月 9 日以降、SOLTI から各研究発表の発表要旨の閲覧とダウンロードができます(当日の冊子・USB メモリでの配布はありません)。「18. 本大会における Wi-Fi 環境について」(6 ページ)に示した Wi-Fi 環境にて、大会会場で発表要旨の閲覧とダウンロードも可能ですが、発表要旨集録については事前にダウンロードして大会会場にいらして下さるようお願いいたします。

6. 発表当日に使用する資料について

- (1) 本大会では、発表者が発表要旨とは別に大会当日に使用する資料を任意で事前にアップロードできます（PDF形式に限る）。課題研究を含めすべての部会が対象です。
- (2) システムの都合上、ファイルはPDF形式のみ、個数は1発表について1個まで、ファイル容量の上限は5MBとします。ファイル名は「○○○○発表資料.pdf」（○○○○は発表（代表）者の氏名（漢字を基本））としてください。
- (3) 資料ファイルのアップロードは、発表申し込み完了時に送信されるメールに記載された URL にしたがって SOLT I から行ってください。
- (4) 資料ファイルは、発表する部会がいずれであっても、9月9日（月）から13日（金）9:00までを目途に早めにアップロードしてください。
- (5) 大会参加費を納付した参加者は、大会期間中にこの資料を SOLT I からダウンロードできます。

7. プログラム・大会要旨集録の記載内容について

発表者の氏名・所属・発表題目（副題を含む）は、SOLT I に提出された内容のまま掲載しています。

8. 欠席の場合

発表者が欠席するときは、9月12日までに運営事務局宛（jses76@kohmura.co.jp）に必ずお知らせください。発表者が欠席の場合、発表時間の繰り上げは行いません。

9. 発表における機器の準備・使用について

- (1) 本大会では、発表で利用するプロジェクターのみ大会校で用意します。発表で利用するパソコンについては発表者がご持参ください。
- (2) 接続ケーブルとしてはHDMI対応となっています。それ以外の接続を希望される場合は、専用のコネクタをお持ちください。
- (3) 大会校での複写は受け付けておりません。発表資料を紙媒体で配付される方は、事前に十分な部数をご用意ください。

10. カラー資料作成の手引き～色覚バリアフリーの実現に向けて～

本学会では、学会発表や学会活動のさまざまな場面において「色覚バリアフリー」の実現をめざしています。色覚バリアフリーとは、色彩の識別が困難な人たちが一定の割合でいらっしゃるという科学的見地にもとづき、大会発表資料等における色の使い方の配慮等、適切な工夫が必要であるという考え方です。誰にとってもわかりやすい資料提示をめざし、特にカラー資料の提示の際には、次の点にご配慮くださいますよう、お願い申し上げます。

- ① 赤と緑の識別が困難な場合が多いので、配慮する。
- ② レーザーポインターは、緑のポインターが望ましい。
- ③ 明度の差を利用し、コントラストのはっきりした色の塗り分けを工夫する。
- ④ 輪郭線や境界線で、塗り分けの境を強調する。
- ⑤ ひとつの図版に使う色数は、なるべく少なくする。
- ⑥ 対象箇所を各色で示さず、場所や形でも指定する。（例：この四角い赤のマークは…）

11. 受付

場所:北校舎(N館)ホール

時間:大会第1日目(9月13日)8時45分~18時30分

大会第2日目(9月14日)9時00分~14時00分

今大会では、8月23日18時までに参加申し込みと支払いをされた方の名札が、受付に用意されています。そこからご自身の名札を受け取り会場へお入りください。

12. クローク

場所:北校舎(N館)N102

時間:大会第1日目(9月13日)8時45分~19時00分

大会第2日目(9月14日)9時00分~16時30分

※貴重品のお預かりはできません。ご自身で携帯してください。

13. 大会期間中の一時保育について

9月12日~14日の3日間、大会校内での一時保育(託児)室を設置する予定です。

希望される方は、大会参加申し込み時にオプションで「一時保育」の申し込みをしてください。申し込み後、個別に詳細についてお伺いさせていただきます。なお、お部屋の関係上10名程度を上限とさせていただきます。お早目の申し込みをお願いいたします。その他、急遽一時保育の必要が生じた場合等は、事前に運営事務局(jses76@kohmura.co.jp)までご連絡ください。

14. 事業報告会

第1日目の事業報告会では、おもに事務局から学会の事業について報告するとともに会員の皆様からご意見を募ります。これに続く学会奨励賞授賞式とポスター発表部会は、同じ図書館棟2階講義室で行います。この教室は、弁当などの飲食が可能です。

15. 昼食

昼食については、9月13日・14日ともに、会場キャンパス内の生協食堂が利用可能です。近隣にはコンビニエンスストア、徒歩で10分程度のところに商店等もございます。

16. 会員控室

北校舎(N館)のN104およびN204が会員控室となっております。ご利用ください。

17. ゴミについて

教室や図書館等で食事をする場合などに発生したゴミは、ご自身でお持ち帰りいただきますよう、お願いいたします。

18. 本大会における Wi-Fi 環境について

- (1) 大会校の Wi-Fi 環境に接続するための ID・パスワード(利用方法・各教室のアクセスポイントを含む)を受付にてお知らせ(配布)します。なお、混雑するとつながりにくくなることもございますので、可能な限り、事前に資料をダウンロードした上で参加していただけますようご協力をお願いします。
- (2) 本大会の会場内では eduroam は使用できません。

19. 懇親会

本大会では、残念ながら、懇親会は開催しないことといたしました。

20. バリアフリー対応について

車いす利用など対応が必要な方は、事前に運営事務局(jses76@kohmura.co.jp)までご連絡ください。

21. 宿泊のご案内について

本大会では、宿泊についてのご案内はいたしません。本大会の開催に際し、(公財)ながの観光コンベンションビューローより支援を受けておりますので、長野市内での宿泊をお願いします。

22. トラベルグラントについて

本大会では、本学会の試行的取り組みとしてトラベルグラントが導入されています。対象となる方は、学会ウェブサイトに記載されている案内・指示に従ってください(申し込み期限は5月31日に終了しています)。

大会会場へのアクセス

信州大学長野(教育)キャンパス

〒380-8544 長野県長野市西長野6の口

*会場は善光寺近くにある教育学部のキャンパスです。

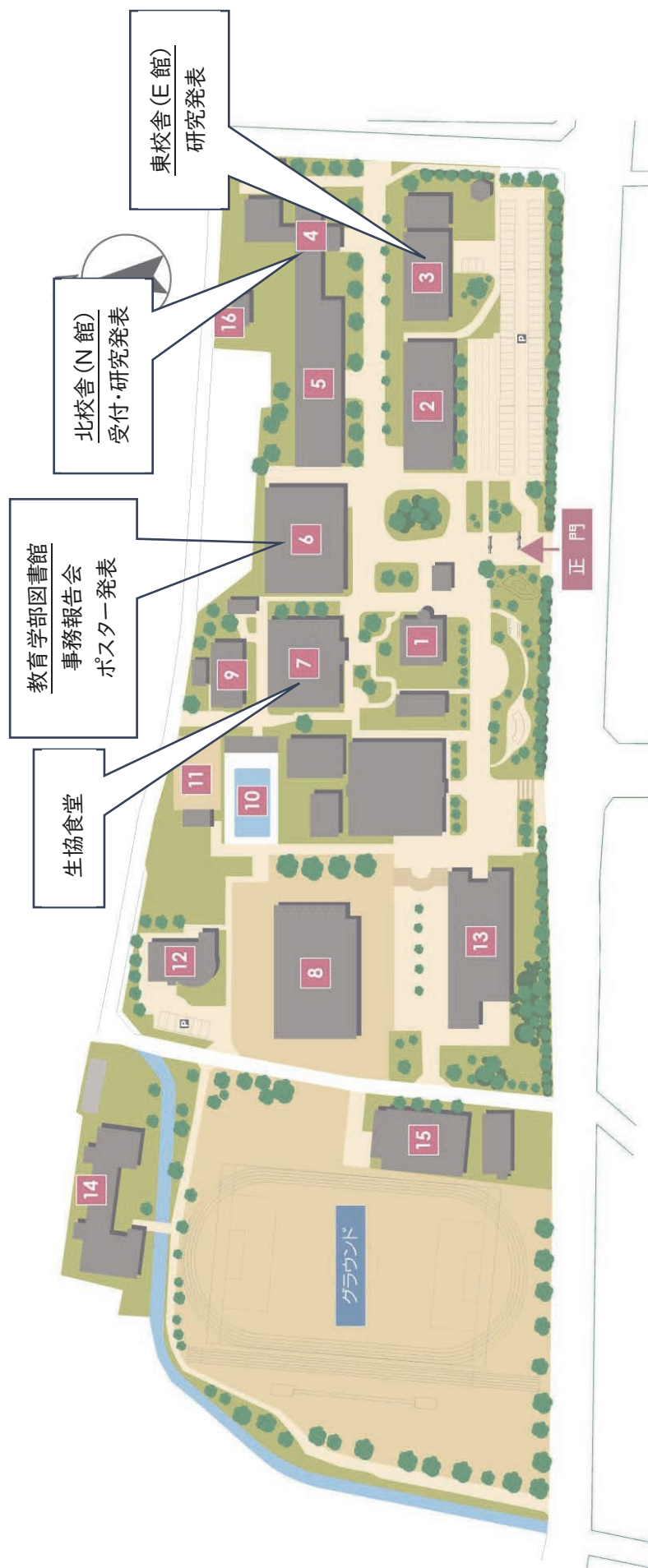
同じく長野市内にある工学部のキャンパスとは異なりますのでご注意ください。

<最寄駅>

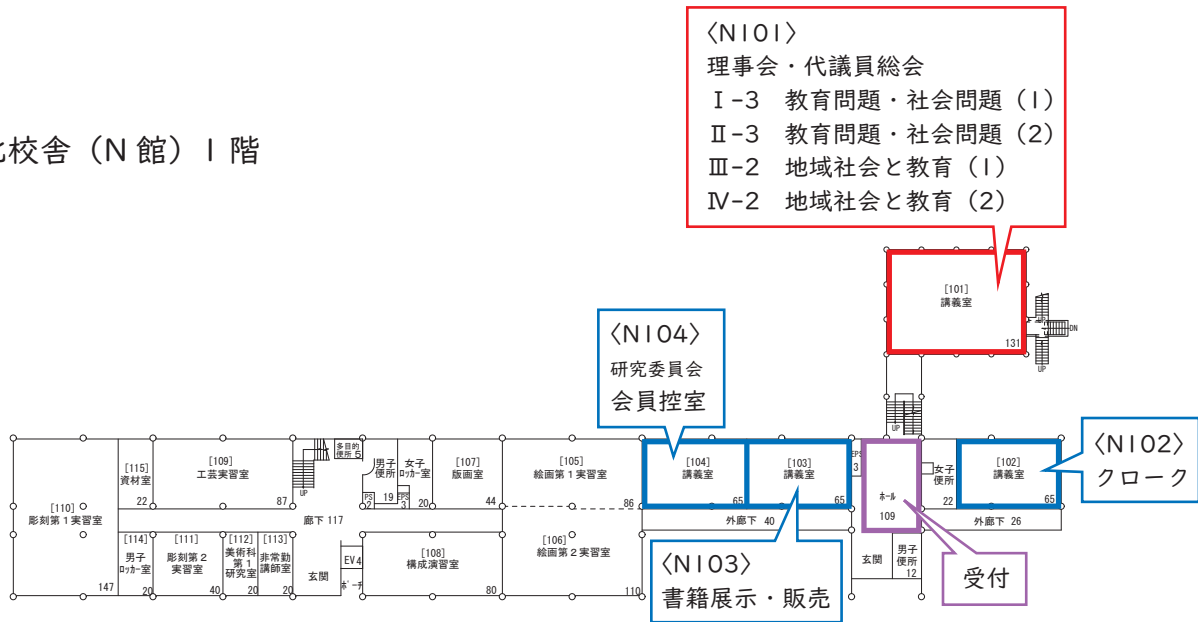
- ・JR 長野駅 善光寺口 1 番のりばでアルピコバス「善光寺大門行(びんずる号)」,「善光寺經由宇木行」,「善光寺・西条經由若槻東条行」,「善光寺・若槻団地經由若槻東条行」のいずれかに乗車(10 分),バス停「花の小路」下車(徒歩 5 分)
- ・JR 長野駅 善光寺口 4 番のりばで中心市街地循環バス『ぐるりん号』に乗車(15 分),バス停「信大教育学部前」下車(徒歩 1 分)
- ・JR 長野駅 善光寺口 7 番のりばで,アルピコバス「県道經由戸隠中社行」,「鬼無里行」,「川後經由滝屋行」のいずれかに乗車(10 分),バス停「信大教育学部前」下車(徒歩 1 分)



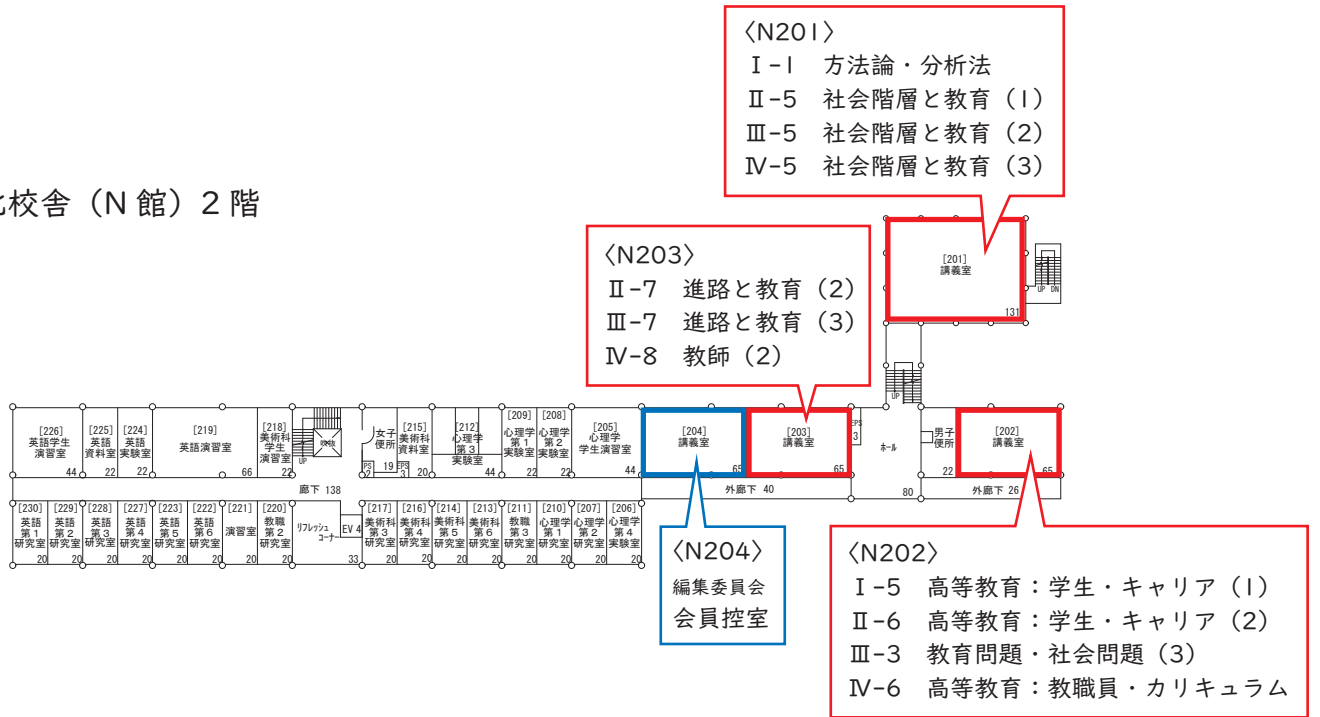
大会会場 構内案内図



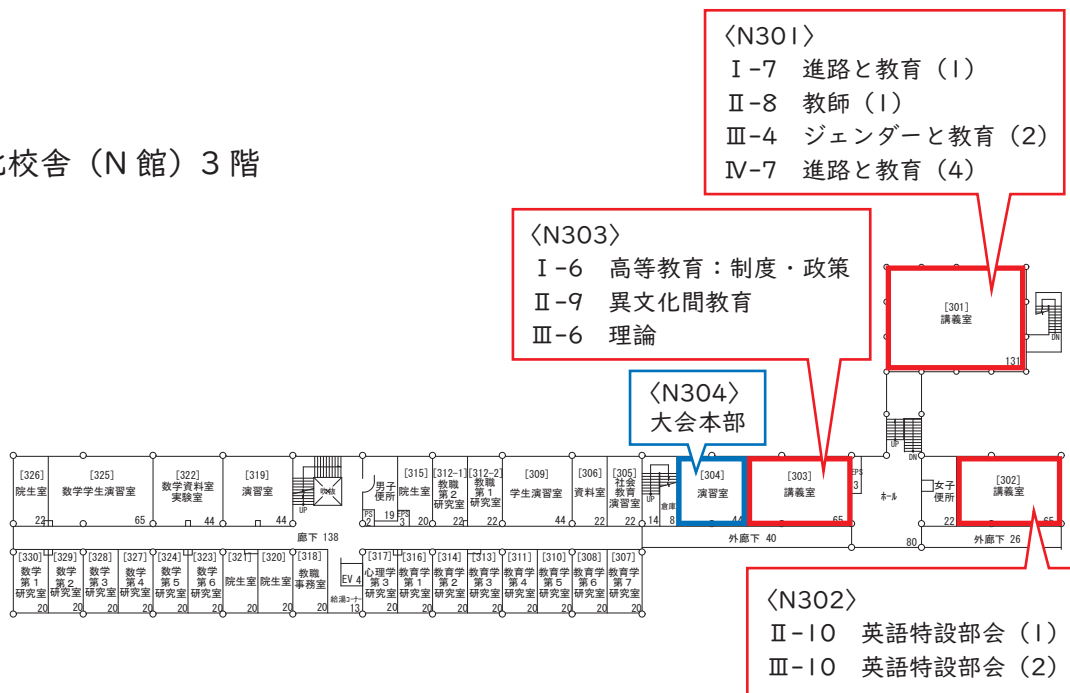
北校舎 (N館) 1階



北校舎 (N館) 2階

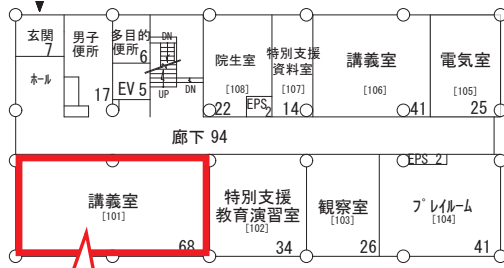


北校舎 (N館) 3階



東校舎 (E 館)

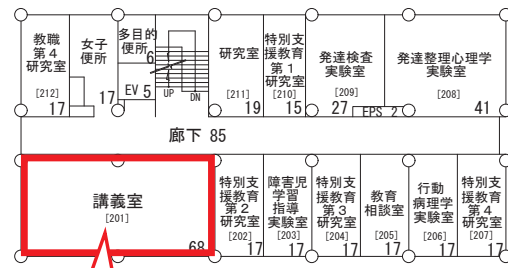
1 階



〈E101〉

- I-2 教育の歴史社会学
- II-1 子ども・青少年
- III-1 教育と相互行為
- IV-1 教育費

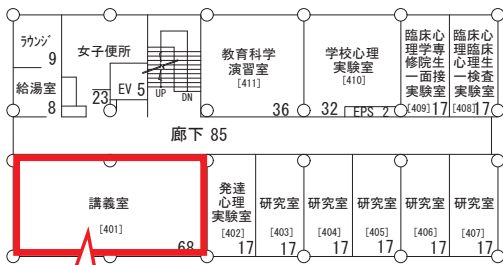
2 階



〈E201〉

- I-4 ジェンダーと教育 (I)
- II-2 初等・中等教育
- III-8 特別支援教育
- IV-3 不登校問題

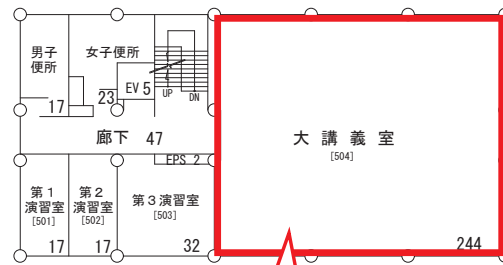
4 階



〈E401〉

- I-8 家族と教育
- II-4 社会的公正と教育
- III-9 情報通信と教育
- IV-4 グローバリゼーションと教育

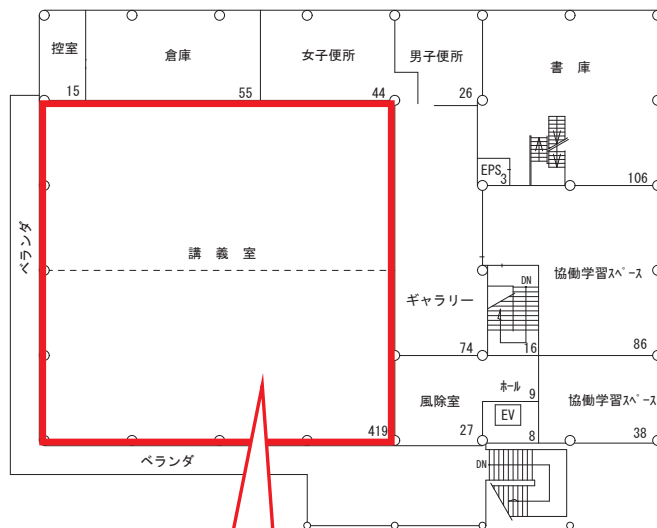
5 階



〈E504〉

- 課題研究 II

図書館棟 2 階



〈講義室〉

- 若手研究者交流会
- 事業報告会・学会奨励賞授賞式
- ポスター発表
- 課題研究 I

Ⅱ 大会日程・各種会合

大会日程

前日:9月12日(木)		
16:00 ~ 18:30	若手研究者交流会	図書館棟 2階 講義室
第1日目:9月13日(金)		
8:45 ~	受付	北校舎(N館)ホール
9:30 ~ 12:00	研究発表 I	
12:00 ~ 13:15	昼食	
12:15 ~ 12:55	事業報告会	図書館棟 2階 講義室
12:55 ~ 13:15	学会奨励賞授賞式	図書館棟 2階 講義室
13:15 ~ 14:05	ポスター発表部会	図書館棟 2階 講義室
14:05 ~ 14:20	移動	
14:20 ~ 16:20	研究発表 II・英語特設部会(1)	
16:20 ~ 16:35	移動	
16:35 ~ 18:35	研究発表 III・英語特設部会(2)	
第2日目:9月14日(土)		
9:00 ~	受付	北校舎(N館)ホール
9:30 ~ 12:00	研究発表 IV	
12:00 ~ 13:00	昼食・各種会合	
13:00 ~ 16:00	課題研究 I	図書館棟 2階 講義室
	課題研究 II	東校舎(E館)E504

各種会合

前日:9月12日(木)		
13:30 ~ 15:00	研究委員会	北校舎(N館)N104
	編集委員会	北校舎(N館)N204
15:00 ~ 17:00	理事会	北校舎(N館)N101
17:00 ~ 18:30	代議員総会	北校舎(N館)N101
第2日目:9月14日(土)		
12:00 ~ 13:00	課題研究 I 打ち合わせ	図書館棟 2階 講義室
	課題研究 II 打ち合わせ	東校舎(E館)E504

Ⅲ プログラム

若手研究者交流会

9月12日(木) 16:00-18:30

日本教育社会学会では、全国各地の大学・大学院等において教育社会学研究の研鑽を積んでいる若手研究者を対象に、下記の要領で若手研究者交流会を開催することにいたしました。本交流会は、気軽に若手研究者同士で研究計画や研究成果、キャリアプラン等を検討・相談できる場を提供し、参加者相互の新たなネットワークの構築を図ることを目的としています。

特に今年度の学会大会(於信州大学)では、残念ながら学会・大会校主催での懇親会が開催されないことを踏まえ、若手・初期キャリアの方々に対してだけでも懇親の場を提供しようと教育部が思い立ち、例年とは異なる会合を企画いたしました。多数のご参加をお待ちしております。

【日時】	2024年9月12日(木) 16:00～18:30
【場所】	信州大学 長野(教育)キャンパス 教育学部図書館2階 講義室
【参加対象】	学部生、大学院生、初期キャリアの研究者で教育社会学に関心のある方(非学会員も可)
【参加費】	飲食代2,000円(仮)
【実施形態】	対面
【タイムライン】	
16:00～17:00	アイスブレイク(あらかじめ割り振られたグループ内での参加者の自己紹介・研究関心・悩み等の共有:1人5分程度。)
17:00～18:30	懇親会(初期割り振りグループを超えて自由な交流)
【参加申込メ切】	8月12日(月)

参加者のみなさまへ

- 参加される方は全員、以下いずれかの情報を **8月12日(月)** までに下記の Google フォームに記入してください。

<https://forms.gle/GPa94bknwng57vI2A>

- ・自己紹介・研究関心・悩み等(400字程度)
 - ・本大会での発表予定者は発表資料を自己紹介代わりの資料として代用可(フォームの「自己紹介・研究関心・悩み」の記入は省略可)
 - ・その他自己紹介代わりの資料やレジュメ、論文の抜き刷り等も配布可能
- ※学会大会での発表資料やその他資料・レジュメ・論文等を若手の会で配布する場合は、紙媒体・電子媒体を問わず参加者が各自用意してください。
- ※できる限り電子媒体での配布(ファイルのアップロード先URLの通知等)をお願いいたします。
- Google フォームにアップロードされた自己紹介・研究関心・悩み等の記述資料については紙媒体での配布はいたしませんので、各自PCやタブレット等を持ち込みの上、クラウドからダウンロードしてください(URLは後日連絡いたします)。会場のWiFiは完備されています。

【問い合わせ先】日本教育社会学会教育部
jses.yseminor.20232024@gmail.com

I - I 部会

方法論・分析法

9月13日(金) 9:30-12:00 N201

司会

濱本真一(日本大学)

- 9:30-9:55 1. 初期キャリアの状況とその後のライフイベント
——関連性に変化はあったのか
○香川めい(大東文化大学)
- 9:55-10:20 2. 曜日と時間帯によって異なる子どもの生活時間の階層性
○胡中孟徳(東京大学)
- 10:20-10:45 3. 特異項目機能(DIF)による全国学力・学習状況調査の分析
○川口俊明(福岡教育大学)
- 10:45-11:10 4. PIAAC(国際成人力調査)のデータとその分析方法について
○廣田英樹(文部科学省国立教育政策研究所)
- 11:10-11:35 5. 量的調査の回収率・精度向上に向けた調査員の確保・育成研究
——統計法・統計委員会をめぐる政治モデルの検討に基づいて
○西村幸満(国立社会保障・人口問題研究所)
- 11:35-12:00 総括討論

I - 2 部会

教育の歴史社会学

9月13日(金) 9:30-12:00 E101

司会

高橋靖幸(新潟県立大学)

- 9:30-9:55 1. 草創期大学の学問発信と街のメディア
○菅原慶子(東京大学大学院)
- 9:55-10:20 2. 1950年代におけるメディア業界の学歴:『日本新聞年鑑』の分析
○河崎吉紀(同志社大学)
- 10:20-10:45 3. 近代の新聞記事にみる女学生イメージの変遷
○野村和(武蔵野短期大学)
- 10:45-11:10 4. 明治・大正期における学生寄宿舍の機能-常盤会寄宿舍を事例に
○遠藤健(早稲田大学)
小峰隆広(早稲田大学大学院・非会員)
- 11:10-11:35 5. 戦後日本における〈青少年〉観の形成
-司法・中央青少年問題協議会・警察に着目して
○中山良子(大阪公立大学工業高等専門学校)
- 11:35-12:00 総括討論

I - 3 部会

教育問題・社会問題 (I)

9月13日(金) 9:30-12:00 N101

司会

間山広朗 (神奈川大学)

- 9:30-9:55 1. 「問題化」以降の少年犯罪報道
——2005～2023年の『朝日新聞』報道を例にして
○牧野智和 (大妻女子大学)
- 9:55-10:20 2. 刑務所処遇における「教育」の構造
—「教育刑論」以降の教育主義の展開に関する一考察—
○仲野由佳理 (日本大学)
- 10:20-10:45 3. 教育問題における「家庭」の検討
○加藤美帆 (東京外国語大学)
- 10:45-11:10 4. 「教育困難校」はいかにして成立してきたのか
—「高校百校新設計画」により増設された神奈川県立高校全日制・新設校を事例に一—
○裴潤哲 (京都大学大学院)
- 11:10-11:35 5. 生徒の逸脱と教員文化—喫煙への指導を対象として
○井上慧真 (大阪経済大学)
- 11:35-12:00 総括討論

I - 4 部会

ジェンダーと教育 (I)

9月13日(金) 9:30-12:00 E201

司会

河野銀子(九州大学)

- 9:30-9:55 1. 教員採用のジェンダー差
○松宮慎治(信州大学)
- 9:55-10:45 2. 小学校女性管理職をめぐる同一県内の世代差・地域差の分析
ー女性管理職割合が高い県に着目してー
○寺町晋哉(宮崎公立大学)
木村育恵(北海道教育大学)
○波多江俊介(熊本大学)
○濱貴子(関西大学)
○楊川(九州国際大学)
跡部千慧(東京都立大学・非会員)
瀬川朗(鹿児島大学・非会員)
高島裕美(名寄市立大学)
柴田里彩(高知大学・非会員)
- 10:45-11:35 3. 大学院博士課程在籍中に抱える困難の性差
○中野円佳(東京大学)
○九鬼成美(東京大学大学院)
○久保京子(東京大学大学院)
- 11:35-12:00 総括討論

I - 5 部会

高等教育：学生・キャリア（1）

9月13日（金） 9:30-12:00 N202

司会

朴澤泰男（国立教育政策研究所）

- 9:30-9:55 1. 文系学部卒業生による大学教育の回顧—仕事と教育の関係に着目して
○二宮祐（群馬大学）
- 9:55-10:20 2. 薬学分野における研究・教育成果に関する研究
—4・6年制課程の併存と研究・教育—
○速水幹也（名古屋大学大学院）
- 10:20-10:45 3. 教員志望でなかった学生はなぜ教員になったのか
○金弘実久（広島大学大学院）
- 10:45-11:10 4. 少子化時代の高校受験：
都道府県別の競争倍率の推移と卒業後の進路の変容に着目して
○相澤真一（上智大学）
- 11:10-12:00 総括討論

I - 6 部会

高等教育：制度・政策

9月13日（金） 9:30-12:00 N303

司会

木村拓也（九州大学）

- 9:30-9:55 1. 貧困地域出身大学生の適応問題に関する実証的研究
—中国の大学入試における積極的格差是正措置「貧困専項計画」に着目して—
○安梓滢（東京大学大学院）
- 9:55-10:20 2. 中国の大学における必修科目としてのインターンシップの現状と課題
—A大学の卒業生と教員に対するインタビュー調査を通して—
○王雨遥（一橋大学大学院）
- 10:20-10:45 3. 中国独立学院制度の持続と現在について
○潘秋静（山梨学院大学）
闕明坤（浙江大学・非会員）
- 10:45-11:10 4. 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」（COC+）とは何だったのか
——複数の比較軸による多面的な検証
○小山治（京都産業大学）
- 11:10-11:35 5. 大学のパフォーマンス・ガバナンスに関する論点整理
○杉本和弘（東北大学）
- 11:35-12:00 総括討論

I - 7 部会

進路と教育 (I)

9月13日(金) 9:30-12:00 N301

司会

森いづみ(中央大学)

- 9:30-9:55 1. 高校生の将来展望と進路選択：学歴ベースと職業ベースの対比から
○山口哲司(東京大学大学院)
- 9:55-10:20 2. 高校における格差生成過程の日中比較——PISA2018を用いて——
○原媛(同志社大学大学院)
- 10:20-10:45 3. 過去の成績が進路希望の変化に与える影響
○遠藤優太(京都大学大学院)
- 10:45-11:35 4. 高校入試における内申書の意味と機能に関する社会学的研究
—全国(2020)及び2都県(2022)調査データの分析—
○中村高康(東京大学)
○田垣内義浩(東京大学大学院)
○山口ゆり乃(東京大学大学院)
藤原翔(東京大学)
伊藤美遥(株式会社クニエ)
- 11:35-12:00 総括討論

家族と教育

9月13日(金) 9:30-12:00 E401

司会

天童睦子(宮城学院女子大学)

- 9:30-9:55 1. 中学生・高校生の生活における家事：ジェンダー差に注目して
○戸高南帆(東京大学大学院)
- 9:55-10:20 2. 子育て世代の信頼とネットワーク
○荒牧草平(大阪大学)
- 10:20-10:45 3. 高校非進学・中退経験をもつ母親における進学期待の形成
○桑山碧実(大阪大学大学院)
- 10:45-11:35 4. 大規模公営団地における低所得層家族の生活と教育戦略のその後
～継続インタビュー調査の分析～
○小澤浩明(東洋大学)
栗原和樹(東京大学(日本学術振興会特別研究員PD))
前馬優策(広島経済大学・非会員)
松田洋介(大東文化大学)
○三浦芳恵(東京都立大学)
○山田哲也(一橋大学)
- 11:35-12:00 総括討論

ポスター発表部会

9月13日(金) 13:15-14:05 図書館棟 2階講義室

番号	発表者(所属)	題目
P1	○太田昌志(追手門学院大学) 川口広美(広島大学・非会員) 古田雄一(筑波大学・非会員) 北山夕華(大阪大学)	学校への態度と政治への態度—高校生の社会参加に関する質問紙調査から—
P2	○佐藤公彦(NPO 法人 Teach For Japan)	ファーストジェネレーション学生はどのような径路を経て大学進学するのか—TEM(複線径路等至性モデリング)を用いた分析—
P3	○加藤一晃(名古屋芸術大学)	小学生の職業希望の変動—1970年代以降の全国調査の再集計から—
P4	○反橋一憲(愛知淑徳大学)	2000年代以降のクイズ番組における「学歴」—おバカブームと東大ブームの教育社会学的研究に向けた予備的考察—
P5	○金南咲季(椋山女学園大学)	子育て家庭の資本の差異:大学ランク・専攻・ジェンダーに着目して
P6	○立石慎治(筑波大学)	専門職大学・専門職短期大学の教員のキャリア類型:専門分野間比較の視点から
P7	○木村育恵(北海道教育大学) ○池上徹(関西福祉科学大学) 河野銀子(九州大学) 跡部千慧(東京都立大学・非会員) 田口久美子(和洋女子大学・非会員) 高野良子(植草学園大学名誉教授・非会員) 井上いずみ(公立学校教員・非会員)	学校教員のキャリア形成と同僚性—全国教員調査の分析から
P8	○新谷康浩(横浜国立大学)	職業教育を介したジョブ型キャリアによる社会的地位達成
P9	○鴨下響(早稲田大学大学院)	「学び直し」の促進要因についての検討—職場環境の効果に着目して—
P10	○鳶島修治(群馬大学)	母親の進学期待と中学生の学校外教育利用
P11	○依田公華(東京大学大学院)	理容師・美容師のライフコースと職業規範に関する社会学的分析
P12	○鎌田健太郎(東京大学大学院)	スキル形成における高等教育の役割
P13	○松川亜矢(名古屋大学大学院)	音楽大学における教育体制—教授職の専門分野構成に着目して—
P14	○山口真美(松山東雲女子大学)	保育者養成課程における保護者支援に関する科目の実態

Ⅱ－Ⅰ部会

子ども・青少年

9月13日(金) 14:20-16:20 E101

司会

堀健志(上越教育大学)

- | | |
|-------------|--|
| 14:20-14:45 | 1. ユースセンターにおける仲間集団との関わりが及ぼす作用
○水野聖良(大阪大学大学院) |
| 14:45-15:10 | 2. フリースクール実践において空間はいかに解釈されているのか
○藤村晃成(大分大学) |
| 15:10-15:35 | 3. 生徒文化としての高校生の学び—生徒文化研究を学び領域に拡張する
○大多和直樹(お茶の水女子大学) |
| 15:35-16:00 | 4. 子供若者の意見聴取活動に関する実験的取り組み
—参加参画の方法論をめぐって—
○古賀正義(子供若者支援研究所) |
| 16:00-16:20 | 総括討論 |

Ⅱ－２部会

初等・中等教育

9月13日(金) 14:20-16:20 E201

司会

渡邊雅子(名古屋大学)

- 14:20-14:45 1. 小学校担任教師による学級指導観の導入
—Wiederのコード分析を手がかりに—
○齋藤楓美(神奈川大学大学院)
- 14:45-15:10 2. 中学校国語科の授業における生徒の社会的志向性の認識様態
—説明的文章教材を扱う授業実践から—
○山田美都雄(宮城教育大学)
小澤昌之(東京学芸大学)
- 15:10-15:35 3. 社会的課題を扱う探究学習の課題設定過程
—進学校の高校におけるフィールドワークをもとに—
○小原明恵(筑波大学)
- 15:35-16:00 4. 教師ネットワークと勤務時間外で行われる学習会
—小学校特別活動を事例に—
○長谷川祐介(大分大学)
藤村晃成(大分大学)
- 16:00-16:20 総括討論

Ⅱ－３部会

教育問題・社会問題（２）

9月13日（金） 14:20－16:20 N101

司会

伊藤茂樹（駒澤大学）

- 14:20－14:45 1. WEB 小説から読む現代の能力主義
○羅大為（広島大学大学院）
- 14:45－15:10 2. 教師による有形力の行使はいかに報道されたか
－ 1970 年代以降の朝日新聞を対象に
○村上慧（名古屋大学大学院）
- 15:10－15:35 3. 就学問題の社会的構築：小 1 プロブレムと小 1 の壁
○酒井朗（上智大学）
- 15:35－16:00 4. いじめ問題とはなんだったのか（２）
——モラルパニック論的アプローチによる検証の試み——
○山本雄二（なし）
- 16:00－16:20 総括討論

Ⅱ－４部会

社会的公正と教育

9月13日（金） 14:20－16:20 E401

司会

清水睦美（日本女子大学）

- 14:20－14:45 1. 外国人の子どもの移行における構造的制約
－立ちはだかる在留資格の壁をめぐって
○今井貴代子（大阪大学）
- 14:45－15:10 2. 学校でのいじめやハラスメントによる中高年期までの長期的影響
－「家族と性と多様性にかんする全国アンケート」による＜子ども期の
逆境体験（ACE）＞分析－
○岩本健良（金沢大学）
- 15:10－15:35 3. 学校園教員の人権に関する意識と人権教育指導経験
——T市における人権意識調査から
○内田龍史（関西大学）
- 15:35－16:20 総括討論

Ⅱ－５部会

社会階層と教育（Ⅰ）

9月13日（金） 14:20－16:20 N201

司会

松岡亮二（龍谷大学）

- 14:20－14:45 1. パネル調査から見る高校進学の様相：通信制高校への進学に着目して
○中西啓喜（桃山学院大学）
- 14:45－15:10 2. 非大卒親・子教育アスピレーションの「温度差」：
CEPS 調査に基づく実証分析
○陳炯楷（早稲田大学大学院）
- 15:10－16:00 3. 大学に進学しない人々の高収入機会—高卒・専門学校卒者に着目して
○有田伸（東京大学）
○多喜弘文（東京大学）
平沢和司（北海道大学）
- 16:00－16:20 総括討論

Ⅱ－６部会

高等教育：学生・キャリア（２）

９月１３日（金） 14:20－16:20 N202

司会

濱中淳子（早稲田大学）

- 14:20－14:45 1. 中国における大学生の修士教育に対する価値意識
○陳思源（上智大学大学院）
- 14:45－15:10 2. マレーシアにおける教育拡大とアスピレーションの実現
——親階層および民族属性の影響の検討
○田中李歩（一橋大学）
- 15:10－15:35 3. 時系列的にみた大学進学第一世代の特徴についての分析
－千葉県在住者を対象とした調査をもとに－
○池田美穂（千葉大学大学院）
- 15:35－16:00 4. アメリカの大学における第一世代学生（First Generation Students :
FGS）への支援－FGSという支援枠組みの検討
○河野志穂（新潟大学）
- 16:00－16:20 総括討論

Ⅱ－7 部会

進路と教育（2）

9月13日（金） 14:20－16:20 N203

司会

藤田武志（日本女子大学）

- 14:20－14:45 1. 中国における農村戸籍職業高校生の再加熱
—「対口招生」を通じ進学成功者に着目する—
○付江天（上智大学大学院）
- 14:45－15:10 2. 塾が児童・生徒の学習意欲に与える影響に関する研究
○東山楓佳（東北大学大学院）
- 15:10－16:00 3. 女子の大学進学における専攻分野の選択を規定する要因の検討
中学から高校卒業後の進路決定までの縦断データ（JLSCP）を用いた分析
○木村治生（ベネッセ教育総合研究所）
○河野銀子（九州大学）
- 16:00－16:20 総括討論

Ⅱ－８部会

教師（Ⅰ）

9月13日（金） 14:20－16:20 N301

司会

紅林伸幸（常葉大学）

- | | |
|-------------|---|
| 14:20－14:45 | 1. 教師の教職生活に関する意識等についての分析
○有海拓巳（浜銀総合研究所） |
| 14:45－15:10 | 2. 中国における教員と保護者の関係
○朱新雅（広島大学大学院） |
| 15:10－15:35 | 3. 校区の社会経済的背景と教員の人事異動・配置
○中村瑛仁（京都教育大学） |
| 15:35－16:00 | 4. 戦後教育における地球市民教育の源流と教師教育
○小高さほみ（上越教育大学） |
| 16:00－16:20 | 総括討論 |

異文化間教育

9月13日(金) 14:20-16:20 N303

司会

ハヤシザキカズヒコ (福岡教育大学)

- 14:20-14:45 1. 帰国した中国系移民第2世代のキャリア意識
- 若者たちへのインタビューから -
○王梓昂 (筑波大学大学院)
- 14:45-15:10 2. 外国人生徒への組織的な支援の課題に関する予備的研究
- 特別支援教育との関連から -
○伊藤莉央 (大阪大学)
- 15:10-15:35 3. ニュージーランドの中等学校における成人難民出身者に対する英語教育
○柿原豪 (新潟大学)
- 15:35-16:00 4. 移民の子どもの学力と言語的要因との関係
○中原慧 (同志社大学)
- 16:00-16:20 総括討論

II – 10 部会

English Session (I) : Education and Social Change

9月13日(金) 14:20–16:20 N302

司会

Satoko Fukahori (Kyusyu University)/ 深堀聡子 (九州大学)

Shinichi Aizawa (Sophia University)/ 相澤真一 (上智大学)

- 14:20–14:45 1. Research on strategic alliances and educational diversification in a post-globalization context
The neo-liberal education challenges of Taiwan
Yu-Hao Wang (King's College London)
○Chun-Ping Wang (National Taipei University of Education)
- 14:45–15:35 2. Internationalization and regional revitalization in Taiwan's local universities
Taiwan internationalization regional revitalization
○Ayaka Noda (NIAD-QE)/
野田文香 (独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構)
○LIU Jing (Tohoku Univeristy)/ 劉靖 (東北大学)
- 15:35–16:00 3. Learning to Get a Way out? How Working Class Kids Do at School and in the Job Market
○Chun-Wen Lin (National Chiayi University)
- 16:00–16:20 総括討論

Ⅲ－Ⅰ 部会

教育と相互行為

9月13日(金) 16:35-18:35 E101

司会

森一平(帝京大学)

- 16:35-17:00 1. 学級の「継続的」な活動を支える教師の指導
—教師-児童間の相互行為に着目して—
○平井大輝(立教大学大学院)
- 17:00-17:25 2. 児童による応答の方向修正はいかにして可能になっているのか
—小学校における授業実践の分析から—
○鯨井健斗(東京大学大学院)
- 17:25-17:50 3. 観察しているということを観察させること
—授業の緊張概念の社会学的考察—
○石野未架(同志社大学)
- 17:50-18:15 4. 授業内相互行為における修正の構成—なぎなた実技授業を事例として—
○高木誠一(国際武道大学)
- 18:15-18:35 総括討論

Ⅲ－２部会

地域社会と教育（Ⅰ）

9月13日（金） 16:35－18:35 N101

司会

吉川徹（大阪大学）

- 16:35－17:00 1. 人口減少地域における若者の移行と自己社会化：
ローカル・トラック概念の再検討を通して
○水野遼太郎（京都大学大学院）
- 17:00－17:25 2. 若者文化からみるローカル・トラック
－新潟県魚沼・十日町地域と首都圏を往還する若年女性に着目して－
○市村望（一橋大学大学院）
- 17:25－18:15 3. 新居浜太鼓祭りにみるライフコースとジェンダー：
トランジション経験の地域差に関する調査報告（Ⅰ）
○尾川満宏（広島大学）
○都島梨紗（岡山大学）
市村望（一橋大学大学院）
金弘実久（広島大学大学院）
上山浩次郎（北海道大学）
新藤慶（群馬大学）
鈴鹿翔大（大阪大学大学院・非会員）
知念渉（大阪大学）
野村駿（秋田大学）
水野聖良（大阪大学大学院）
- 18:15－18:35 総括討論

Ⅲ－３部会

教育問題・社会問題（３）

9月13日（金） 16:35－18:35 N202

司会

藤村晃成（大分大学）

- 16:35－17:00 1. 「努力は報われる」という主観が子どもの幸福感に与える影響
—出身階層と人生満足度に着目して—
○小西凌（三重大学大学院）
- 17:00－17:25 2. 通信制高校におけるカリキュラムの特徴とその変化
○濱沖敢太郎（鹿児島大学）
内田康弘（愛知学院大学）
神崎真実（追手門学院大学・非会員）
土岐玲奈（星槎大学）
- 17:25－17:50 3. 自治体によるフリースクール利用料補助施策の計量的実証分析
○梶原豪人（福山平成大学）
- 17:50－18:35 総括討論

Ⅲ－４部会

ジェンダーと教育（２）

９月１３日（金） 16:35－18:35 N301

司会

寺町晋哉（宮崎公立大学）

- 16:35－17:00 1. 中国ゲイ男性のセクシュアル・アイデンティティの構築とゲイインタレストの生徒文化
○徐崢睿（上智大学大学院）
- 17:00－17:25 2. 文系／理系の進路選択にジェンダー差をもたらす要因の検討
○田邊和彦（日本学術振興会・立教大学）
- 17:25－17:50 3. 専門学校生の就職、将来展望とジェンダー：卒業前調査の結果から
○眞鍋倫子（中央大学）
- 17:50－18:15 4. 地方女子の高校進学
○中村知世（東京大学）
- 18:15－18:35 総括討論

Ⅲ－５部会

社会階層と教育（２）

９月１３日（金） 16:35－18:35 N201

司会

荒牧草平（大阪大学）

- 16:35－17:00 1. 附属校出身であること
—3 大学の学生インタビューによる学生意識の比較分析
○武藤浩子（早稲田大学（非常勤））
沈雨香（早稲田大学）
山本桃子（東京国立博物館・非会員）
木村康彦（千葉大学・非会員）
藤本啓寛（筑波大学）
濱中淳子（早稲田大学）
吉田文（早稲田大学）
- 17:00－17:25 2. 新卒採用における能力検査と性格検査の役割：
オンライン履歴書実験アプローチ
○豊永耕平（近畿大学）
- 17:25－17:50 3. 若年・壮年就業者の入職経路とその後の就業環境にかんする分析
○石田賢示（東京大学）
- 17:50－18:15 4. 実務家教員養成課程での学びと成果—修了生調査の結果から—
○日下田岳史（大正大学）
谷村英洋（帝京大学）
小島佐恵子（玉川大学）
橋本鉦市（放送大学）
- 18:15－18:35 総括討論

Ⅲ－６部会

理論

9月13日(金) 16:35－18:35 N303

司会

中村高康(東京大学)

- 16:35－17:00 1. 教育をめぐる「正常／異常」言説の制度化過程(2)
○池田隆英(岡山県立大学)
- 17:00－17:25 2. 批判的教育学の(不)可能性
○栗原和樹(東京大学)
- 17:25－18:15 3. 自己責任論批判は教育政策の拡充に寄与するか：
責任概念の理論的検討と社会意識調査による実証的分析から
阿部崇史(東京大学)
○池田大輝(東京大学大学院)
○数実浩佑(宝塚大学)
○北野廣平(東京大学大学院)
○宮本雅也(日本学術振興会(東京大学))
朴慧原(一橋大学)
- 18:15－18:35 総括討論

Ⅲ－7 部会

進路と教育（3）

9月13日（金） 16:35－18:35 N203

司会

香川めい（大東文化大学）

- 16:35－17:00 1. 「合格体験記」のテキストマイニングからみる大学受験という体験
—受験生が記す合格までのストーリー—
○小関瑠奈（ドルトン東京学園中等部・高等部）
- 17:00－17:25 2. 大学進学者への進路指導を問い直す
—心理学の理論と学生時代の学び方に着目して—
○師岡あゆみ（お茶の水女子大学大学院）
- 17:25－17:50 3. キャリア教育において心の概念はいかに問題になるか
○布川由利（和歌山大学）
- 17:50－18:15 4. 学齢期の「なりたかった職業」に就いている人々の特徴
○須藤康介（明星大学）
- 18:15－18:35 総括討論

Ⅲ－８部会

特別支援教育

9月13日（金） 16:35－18:35 E201

司会

木村祐子（東京成徳大学）

- 16:35－17:00 1. インクルーシブな学級を形成するための教師の役割
—学級活動を活用した発達障害児の包摂機能に注目して—
○小田純也（筑波大学大学院）
- 17:00－17:25 2. 連絡帳を通じたディスアビリティの同定と子どもの「成長」
—「つながり」を評価する二重の眼差しを中心に
○佐藤貴宣（福井大学）
- 17:25－17:50 3. 医療的ケア児の就学をめぐる特権的知識の使用
○久保田裕斗（びわこ学院大学）
- 17:50－18:15 4. 共生社会に向けた知的障害特別支援学校高等部におけるキャリア教育の
実践に関する考察
○中島 NAKASHIMA 弘和
- 18:15－18:35 総括討論

Ⅲ－9 部会

情報通信と教育

9月13日(金) 16:35-18:35 E401

司会

井上義和(帝京大学)

- 16:35-17:00 1. 1人1台端末導入期の教員による授業・宿題の変容と地域差
○岡部悟志(ベネッセ教育総合研究所)
- 17:00-17:25 2. オンライン授業の履修と集中度の決定要因：
コロナ禍における私立大学学生アンケートの分析結果から
○王傑(慶應義塾大学)
赤林英夫(慶應義塾大学)
小林雅之(桜美林大学)
- 17:25-18:15 3. 全国の通信制大学における学生の学習状況
○中尾友香(中央大学大学院)
○宮崎朔(中央大学大学院)
眞鍋倫子(中央大学)
松田美佐(中央大学・非会員)
澁川幸加(中央大学・非会員)
- 18:15-18:35 総括討論

Ⅲ－10 部会

English Session (2) : Education and Media

9月13日(金) 16:35-18:35 N302

司会

Tomoko Tokunaga (University of Tsukuba)/ 徳永智子 (筑波大学)

LIU Jing (Tohoku Univeristy)/ 劉靖 (東北大学)

- 16:35-17:00 1. Inquiry Tasks in Elementary Social Studies Textbooks From the Perspective of Inquiry-Based Design
○Li-Ching Hung (National Taiwan Normal University)
- 17:00-17:25 2. The O-STEM Model: Unveiling the Ecology of Open Educational Practices in Egyptian STEM Secondary Schools
Learning Ecology, Decolonization of Education, Open Education
○EimanYassin (国際基督教大学大学院)
- 17:25-18:15 3. Political Intentions over the Quality Assurance of Online Programs Witnessed in the Generation of NC-SARA
Dynamics of the Federal-State-HEI Triad
○Satoko Fukahori (Kyusyu University)/
深堀聡子 (九州大学)
○Rie Mori (NIAD-QE)/
森利枝 (大学改革支援・学位授与機構)
- 18:15-18:35 総括討論

IV－I 部会

教育費

9月14日(土) 9:30-12:00 E101

司会

王帥(東京大学)

- 9:30-9:55 1. 低所得者支援としての塾代等助成事業
——「受験生チャレンジ支援貸付事業」に関する都議会議事録の分析
○早川あゆ美(京都大学大学院)
- 9:55-10:20 2. 選好の多次元性を考慮した公教育費への意見の研究
——コンジョイント実験を用いた分析——
○森坂太一(東北大学大学院)
- 10:20-10:45 3. 貸与奨学金の負債と精神的負担
○古田和久(新潟大学)
- 10:45-11:10 4. 教育・福祉の経費負担に対する社会意識の検討：
2つの調査票調査を用いた分析
○白川優治(千葉大学)
- 11:10-12:00 総括討論

IV－2 部会

地域社会と教育（2）

9月14日（土） 9:30－12:00 N101

司会

片山悠樹（愛知教育大学）

- 9:30－9:55 1. オルタナティブスクールにおける「キャリア教育」の実践に関する事例分析
○佐川佳之（椋山女学園大学）
- 9:55－10:20 2. 社会教育事業としての日本語教室「きのくに学びの教室」の現状と課題
○松下恵子（関西学院大学）
- 10:20－11:10 3. 沖縄の若者と青年会活動
——トランジション経験の地域差に関する調査報告（2）
○知念渉（大阪大学）
○野村駿（秋田大学）
水野聖良（大阪大学大学院）
市村望（一橋大学大学院）
上山浩次郎（北海道大学）
尾川満宏（広島大学）
金弘実久（広島大学大学院）
新藤慶（群馬大学）
鈴鹿翔大（大阪大学大学院・非会員）
都島梨紗（岡山大学）
- 11:10－11:35 4. 北海道室蘭の地域的特徴と若者の生活と意識：
トランジション経験の地域差に関する調査報告（3）
○上山浩次郎（北海道大学）
新藤慶（群馬大学）
鈴鹿翔大（大阪大学大学院・非会員）
市村望（一橋大学大学院）
尾川満宏（広島大学）
金弘実久（広島大学大学院）
知念渉（大阪大学大学院）
都島梨紗（岡山大学）
野村駿（秋田大学）
水野聖良（大阪大学大学院）
- 11:35－12:00 総括討論

IV－3部会

不登校問題

9月14日(土) 9:30-12:00 E201

司会

加藤美帆(東京外国語大学)

- | | |
|-------------|--|
| 9:30-9:55 | 1. 教育支援センターの支援文化
ー学校への意味づけをめぐる職種間の差異に着目して
○別府崇善(東京大学大学院) |
| 9:55-10:20 | 2. 不登校経験者の進路—不登校特例校の卒業生に着目して
○田野倉和子(一橋大学大学院) |
| 10:20-10:45 | 3. 学校における「見過ごされた子ども」が抱える課題
ー「不登校」として分類されない子どもに着目してー
○中野綾香(日本学術振興会) |
| 10:45-11:10 | 4. 主体的な不登校に対する地域社会の反応—高知県土佐町の事例から
○高山龍太郎(富山大学) |
| 11:10-11:35 | 5. 学校欠席(不登校)の日独比較—就学義務の「厳格さ」に着目して
○布川あゆみ(東京外国語大学) |
| 11:35-12:00 | 総括討論 |

IV－4部会

グローバル化と教育

9月14日(土) 9:30-12:00 E401

司会

園山大祐(大阪大学)

- 9:30-9:55 1. 交換留学協定の拡大過程－大学階層に着目して
○太田知彩(立教大学)
- 9:55-10:20 2. ペルー系移民二世世代の親世代との関係変容に関する研究
－追跡調査における事例から－
○角替弘規(静岡県立大学)
- 10:20-10:45 3. 公立国際高校における外国にルーツを持つ生徒の生活経験
○聶蕙菁(大阪大学大学院)
王一瓊(お茶の水女子大学)
- 10:45-12:00 総括討論

IV－5 部会

社会階層と教育 (3)

9月14日(土) 9:30-12:00 N201

司会

小川和孝(東北大学)

- 9:30-9:55 1. 階層要因が社会関係資本と GPA の相関関係に影響するの
—中国におけるレベルの異なる大学の学生を対象として—
○呉雨婷(新潟大学大学院)
- 9:55-10:20 2. Boudon の第 1 次効果と第 2 次効果の再検討:
教育機会の不平等への因果分解分析の適用
○藤原翔(東京大学)
- 10:20-10:45 3. コロナ禍における出身家庭の社会経済的地位の役割
○松岡亮二(龍谷大学)
- 10:45-11:35 4. 被災経験の社会階層差—中高生の進路形成に着目して
清水睦美(日本女子大学)
○妹尾涉(国立教育政策研究所)
日下田岳史(大正大学)
○堀健志(上越教育大学)
○松田洋介(大東文化大学)
- 11:35-12:00 総括討論

IV－6 部会

高等教育：教職員・カリキュラム

9月14日（土） 9:30－12:00 N202

司会

杉谷祐美子（青山学院大学）

- 9:30－9:55 1. <専門性>と<早期性>のあいだの緊張関係
－高専教育をめぐる当事者エスノグラフィー
○車田研一（福島工業高等専門学校）
- 9:55－10:20 2. 大人になるのは難しい
～大人に必要な生活スキルを教える新しい授業科目「大人入門」
○宇田川拓雄（嘉悦大学（非常勤））
松本美奈（帝京大学（非常勤）・非会員）
- 10:20－10:45 3. 米国の大学における教職員のキャリアパスと「専門職」としての認識
－インタビュー調査の結果から－
○小島佐恵子（玉川大学）
- 10:45－11:10 4. 大学に所属するキャリアコンサルタントの葛藤と対応
－組織人としての役割とプロフェッショナルとしての職業倫理の衝突－
○菊池美由紀（愛知淑徳大学）
- 11:10－11:35 5. アカデミック・プロフェッションと非常勤講師の位置
－ Contingent Faculty を巡るアメリカ大学教授連合（AAUP）の取組
に注目して－
○丸山和昭（名古屋大学）
- 11:35－12:00 総括討論

IV－7 部会

進路と教育（4）

9月14日（土） 9:30－12:00 N301

司会

中西啓喜（桃山学院大学）

- 9:30－9:55 1. 中国における職業学校での経験はどう語られるのか
○包婉蓉（広島大学大学院）
- 9:55－10:20 2. 中学受験プロセスにおける階層差・地域差
○濱本真一（日本大学）
- 10:20－10:45 3. 進路に関する親子間のコミュニケーションが高校生の進路選択に与える影響
○佐伯厘咲（大阪大学大学院）
- 10:45－11:10 4. 高校の進路指導における生徒の希望進路と配分機能の重視度
－不本意入学予防に着目して－
○竹内正興（香川大学）
- 11:10－11:35 5. 「探究志向」の制度的背景
－探究学習・入試形態・進路意識の関連に関する分析－
○本田由紀（東京大学）
- 11:35－12:00 総括討論

IV－8 部会

教師（2）

9月14日（土） 9:30－12:00 N203

司会

伊勢本大（松山大学）

- 9:30－9:55 1. 教師は学校防犯をどのように語るのか
○高野結衣（大阪大学大学院）
- 9:55－10:20 2. 秋田県公立小・中学校における初任者研修の実施過程の研究
－ 統括指導教員によるエスノグラフィー －
○多賀谷雅人（能代市立能代第二中学校）
- 10:20－10:45 3. 進路指導をめぐる教師の専門性
－ 塾講師による進路指導との葛藤に関する語りから －
○溝脇克弥（名古屋大学大学院）
- 10:45－11:10 4. 教育実習を通じた学生の「教える経験」の構造変容
○松川誠一（東京学芸大学）
- 11:10－11:35 5. 「もうひとつの社会」のための教育社会学－脱権力への試論－
○菊地栄治（早稲田大学）
- 11:35－12:00 総括討論

教員養成における教育社会学の困難を乗り越える

9月14日(土) 13:00-16:00 図書館棟2階 講義室

【趣旨】

近年、学校は社会の経済格差の問題やジェンダー・マイノリティー・生育歴・障害など多様なアイデンティティが交差する複雑な場として捉えられている。そして教師はこうした社会問題の最前線に立つ存在として、より高度かつ専門的な見識と技量を持つことがますます期待されている状況にある。そのなかで、現代の教育課題および教員養成に対して、教育社会学の知見が重要であることは言うまでもない。

しかし、実際に教員養成で教育社会学をいかに教えるかは、その科目を担当する大学教員・研究者にとって複雑な課題となりつつある。社会階層やアイデンティティといった問題が、教員志望者ひいては社会にとってアクチュアルな問題になればなるほど、その問題はセンシティブなものになりうる。その一方で、均質性の高いローカリティーを経験してきた学生に対しては、社会構造の複雑さの問題性にそもそも関心をもたせることが困難な場合も少なくない。多様な出自の学生が想定される昨今の大学教育の現場において事態はますます複雑になっているといえる。それだけではなく、教員としての「即戦力」が求められることの多い教員養成の場においては、さまざまな批判力を持つ教育社会学の知見が、現場で流通している教育言説に対して緊張関係をもたらすこともある。また、教育社会学が教員養成において「必修」ではない現状や、「教職課程コアカリキュラム」による要請にいかに向き合うべきなのかという制度的な問題も横たわっている。

このような状況を踏まえ、本課題研究では教員養成における教育社会学の位置や意義を捉え、そこで生じている諸課題を再検討してみたい。上記の問題に対して、教育社会学者はどのような課題や解決が見出していくことができるのか。本課題研究ではさまざまな立場からの議論を通して、教育社会学の知見をいかに社会に還元するかというより大きな問題への見通しを得ることをねらいとしたい。

司会：川村光（関西国際大学）、粕谷圭佑（奈良教育大学）

報告1：太田拓紀（滋賀大学）

教員養成の「かくれた危険」と教育社会学教育の可能性

報告2：金子真理子（東京学芸大学）

「大学における教員養成」とは何か

—どこから来てどこへ行こうとしているのか—

報告3：鈴木雅博（明治大学）

教員養成における教育社会学の展開可能性

—エスノメソドロジーを事例として—

討論者：福島裕敏（弘前大学）

（研究委員：粕谷圭佑、川村光、林明子）

オープンサイエンスと研究倫理をいかに両立させるか

9月14日(土) 13:00-16:00 E504

【趣旨】

近年の学術研究の動向として、オープンサイエンスの進展と研究倫理の重視がある。オープンサイエンスは、国内では第6期科学技術・イノベーション基本計画を契機として、学術政策の中でより大きな位置を占めるようになってきている。研究倫理にかんしては、各学会における倫理綱領の制定などが2000年代後半から進み、各機関において研究倫理審査が重視されるなど厳格化の傾向にある。

とくに研究データの扱いという点において、これら2つの動向には相反する側面がある。たとえば、オープンサイエンスの方針のもとデータを共有・公開することは、調査対象者・協力者の秘匿性を下げるという倫理面での課題を生じさせる可能性がある一方で、倫理面だけを強調すると研究を制約する可能性もある。ただし、これらは単純に相反するものでもない。むしろ、併せて理解を深めることが適切ではないだろうか。調査対象者の保護の観点がなくては、適切な共有・公開のあり方を議論することはできないはずだし、データ共有が推奨されれば、研究データを適切な範囲で共有することは研究倫理としても要請されるようになるだろう。あるいは、データ共有が進むなかで、さまざまにデータが活用されることに倫理的な問題はないのかも課題となりうる。

このような動向を踏まえると、なかでも社会調査を実施する場合には、これまで以上の配慮や、これまでは気にかけていなかった新たな点への注意が求められることが予想される。そのような変化は、調査の企画・実施から調査データの共有・公開に至るまでのプロセス全体に影響を及ぼすだろう。

以上を踏まえて、本課題研究では、まずオープンサイエンスと研究倫理の動向を共有したうえで、実際の質的・量的な社会調査の現場においてどのような課題を現在抱えているのか、あるいは今後生じうるかを提示する。そのうえで、オープンサイエンスと研究倫理の双方の動向に沿った社会調査をはじめとする研究実践が可能か、それをどう実現させることができるかを議論する。

司会：胡中孟徳（東京大学）、保田時男（関西大学）

報告1：南山泰之（国立情報学研究所・非会員）

研究データ管理とオープンサイエンス

報告2：田代志門（東北大学・非会員）

社会調査の倫理を問い直す—手続きの「厳格化」を超えて—

報告3：都島梨紗（岡山大学）

質的研究におけるオープンサイエンスへの対話に向けて

—透明性と匿名性のはざま—

報告4：石田賢示（東京大学）

計量的社会調査研究におけるオープンサイエンスと研究倫理

—調査研究実践で生じうる懸念について—

討論者：内田良（名古屋大学）

（研究委員：卯月由佳、胡中孟徳、白川俊之、丸山和昭、保田時男）

アメリカの授業料と奨学金研究の展開

小林雅之著

奨学金は、教育の機会均等に寄与しているのか？

アメリカの授業料と奨学金研究の展開

小林雅之著

A5・上製・520頁・6820円

アメリカはなぜ世界一になったか。人種のるつぼで偏見や排除などあるものの教育の機会を拡げ、世界中から移民と留学生を受け入れてアメリカを築いた。その要の一つが高等教育である。大学の授業料と奨学金のメカニズムを紆余曲折を経ながらも今日のシステムとして機能してきた全体構造を実証的に解明した労作。

ミネルバ大学の設計書



ミネルバ大学の設計書

S・M・コソフ、ペソ・ルソフ編著

松下佳代監訳 A5・528頁・5720円

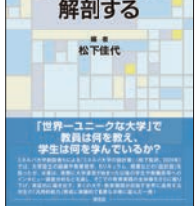
ミネルバ大学は国際的なリーダーを発掘育成のため創られた世界初の校舎のないオンライン大学である。本書は大学創立の哲学とカリキュラム、大学運営等大学教育の全てを網羅した創立者が書いた大著の邦訳。

ミネルバ大学を解剖する

松下佳代編著 A5・328頁・3520円

ミネルバ大学設立から十数年経った今、実際はどうか。大学目標はじめ、カリキュラム、学習評価、授業、課外活動、教職員、学生の学び等、インタビュー調査から大学と学生の全体が検証される。読者が大学を0から作っている感覚になれる第一級の書。

ミネルバ大学を解剖する



大学における教学マネジメント2.0



大学における教学マネジメント2.0

大森不二夫編著 A5・264頁・3190円

大学における教学マネジメント2.0。一やらされ仕事から脱し、学びの充実のための営み。教学マネジメントでは学習目標の設定や評価方法が模索されてきたが、組織の間で調節できず、研究や学習の事例から検証し、教育実践に反映できるアップグレードの提案。大学基準協会監修 JUA 選書第18巻！

公正で質の高い教育に向けたICT活用

卯月・露口・藤原編著 A5・256頁・2970円

2019年のGIGAスクール構想によりICTを用いた教育が全国に普及した。その全国調査によるICT導入・使用状況の実態や自治体と学校ごとの社会経済的要因による差異や問題を浮き彫りにする。教育関係者、必読書。

公正で質の高い教育に向けたICT活用



21世紀型リベラルアーツと大学・社会の対話



21世紀型リベラルアーツと大学・社会の対話

山田礼子編著 A5・264頁・3410円

VUCA時代に要求される人材育成を目指す「21世紀型リベラルアーツ」が模索するためには大学と企業・社会との対話が必須だ。その双方の調査から大学教育と社会が持つ期待と差異を明確にした大学基準協会監修 JUA 選書第19巻！

韓国高等教育改革下の大学開放政策の展開

金明姫著 A5・248頁・4620円

急激に少子高齢化が進む韓国の、特に地方大学は入学者確保の問題が深刻だ。名誉学生として地域で活躍した高齢者の受け入れを手始めに、その後中高年者にも学び直しの機会を拡大した政策の展開により地方大学の活性化をはかる。

韓国高等教育改革下の大学開放政策の展開



日本の大学の知図

市川桂著 A5・292頁・3520円

日本の大学と地域社会との相関システムの形成

稲永由紀著 A5・248頁・4950円

中国独立学院制度の発足・普及・変貌

潘秋静著 A5・296頁・5940円

中国の高等教育発展の新たな試み。総合国立大学を母体とした新たな高等教育機関の独立学院が誕生した。本書は、独立学院の多彩な制度発足から現在の教育実践と効果や評価、課題の多様な展開の全貌を明らかにした日本初刊の労作！

中国独立学院制度の発足・普及・変貌



東信堂 直接注文 お問い合わせ

アマゾン 楽天 ブックス honto

東信堂

中国高等職業教育の展開

〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6
HP <http://www.toshindo-pub.com>
☎ 03-3818-5521 ☎ 03-3818-5514
✉ toshindo_onlineorder1985@gmail.com
✉ tk203444@fsinet.or.jp (代表)

*博論書籍化、教科書等の出版相談は代表メールまで！

第20回(2025年度)

児童教育実践 についての 研究助成

ことば、まなび、おうえん

教育実践に携わる現場の先生方からのご応募も引き続きお待ちしております。

Web応募受付中

2024.7.1 月 ▶ 10.28 月

助成期間

2025年4月1日から1年間または2年間
※2ヵ年助成の場合は1年経過時に中間報告の必要があります。

対象となる研究

- 「ことばの力」を育む研究
- 児童教育実践の質を向上させる研究

※対象は小・中学生となります。ただし、児童教育への反映が明確な場合に限り、幼児教育、高校生に関する研究も可とします。

応募資格

- 日本の学校・教育委員会に所属する教育実践に携わる方
- 日本の大学・公的研究機関に所属する研究者
* 准教授、講師、助教、博士課程の院生など若手支援のため、教授やそれに相当する職は除く

※所属機関の所在地は、日本国内に限り、日本在住者のみ対象とする。※有給・無給、常勤・非常勤、年齢、国籍、学位は不問(ただし、学生の場合は修士号取得以上とする)。
※個人研究、グループ研究とも可。グループ研究の場合は、応募時点で全員が応募資格に適合すること。※応募に際しては、所属長あるいは指導教官からの推薦が必要です。

助成金額

1ヵ年助成: 1件につき200万円を限度に助成します
2ヵ年助成: 1件につき300万円を限度に助成します

審査委員

米田 英嗣 青山学院大学 教授
針生 悦子 東京大学大学院 教授
藤野 博 東京学芸大学大学院 教授
藤森 裕治 文教大学 教授(審査委員長)
横山 詔一 国立国語研究所 名誉教授(五十音順)



Webにて応募受付、
詳しくは博報堂教育財団
ホームページをご覧ください

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/>

博報堂教育財団

Hakuhodo Foundation

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル14階
TEL:03-6206-6266 FAX:03-6206-6582



よい教育研究とはなにか

流行と正統への批判的考察

ガート・ビースタ 著
巨理陽一、神吉宇一、川村拓也、南浦涼介 訳 ◎2970円
教育哲学者ガート・ビースタが、教育研究指南書が語ることの少ない教育研究の前提たいをラディカルに問い直す。



公正と包摂をめざす教育

OECD「多様性の持つ強み」プロジェクト報告書

経済協力開発機構(OECD) 編著
佐藤仁、伊藤亜希子 監訳 ◎5940円
多様性を強みとして捉え、これからの教育をどう構築するのか。本書は世界の教育政策・実践とともにその手がかりを提供する。



教育福祉の社会学

〈包摂と排除〉を超えるメタ理論

倉石一郎 著 ◎2530円
教育を通じて貧困や排除の克服をはかる「教育福祉」の歴史・実践を検証し、その理論を社会的に再構築していく。



シリーズ 子ども若者の権利と政策【全5巻】

末富芳・秋田喜代美・宮本みち子 監修 ◎各2970円
▼当事者、実践者、研究者、行政が多様な視点から未来を論じる

① 子ども若者の権利とこども基本法 末富芳 編著

③ 子ども若者の権利と教育・学校 **新刊** 末富芳 編著

④ 若者の権利と若者政策 宮本みち子 編著 ◎各3300円

SDGs時代にみる教育の普遍化と格差

各国の事例と国際比較から読み解く

澤村信英、小川未空、坂上勝基 編著 ◎5280円
国家間の格差、「格差」の多義性、さらに「格差」是正の政策課題を明らかにする。



日本型多文化教育とは何か

「日本人性」を問い直す学びのデザイン

松尾知明 著 ◎2860円
「日本人性」の概念を問い直すことで、日本型多文化教育のグランドデザインを提案する。



社会関係資本

現代社会の人脉・信頼・コミュニティ

ジョン・フィールド 著 ◎2640円
佐藤智子、西塚孝平、松本奈々子 訳 矢野裕俊 解説
「社会関係資本」という概念を起源から紐解き、人脉や信頼が持つ影響力、デジタル時代の新たな動向も踏まえて全体像を描く。



公教育の再編と子どもの福祉①(実践編)
「多様な教育機会」をつむぐ
ジレンマのなかの実践の論理

公教育の再編と子どもの福祉②(研究編)

「多様な教育機会」から問う
ジレンマを解きほぐすために

森直人、澤田稔、金子良事 編著 ◎各3300円

▼「多様な教育機会確保法案」が提起した問題を受け、公教育の枠を超えた多様な学びの場を探求し、そのジレンマと可能性を模索する2巻シリーズ

明石書店

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5

TEL 03-5818-1171 FAX 03-5818-1174

*図書目録送呈 *価格税込
https://www.akashi.co.jp/

夢と生きる バンドマンの社会学

野村 駿
若いバンドマンたちへの貴重なインタビュー調査をもとに、現代の「夢追い」のリアルな実態を描き出す。 四六判 定価2860円

渡邊雅子

「論理」と「合理性」は文化が作る。日・米・仏・イランの思考表現スタイルからその原理を読み解く。 A5判 定価4950円

「論理的思考」の文化的基盤

— 4つの思考表現スタイル —

- 全13巻の構成
- ① 理論・方法 北田暁大・筒井淳也 編
 - ② 都市・地域 岸政彦・川野英二 編
 - ③ 宗教・エスニシティ 岸政彦・稲場圭信・丹野清人 編
 - ④ 環境・災害・技術 北田暁大・隠岐さや香・関谷直也 編
 - ⑤ ジェンダー・セクシュアリティ 丸山里美・山根純佳 編
 - ⑥ 労働・貧困 丸山里美・太郎丸博 編
 - ⑦ 差別・マイノリティ 岸政彦・金菱清・齋藤直子 編
 - ⑧ 医療・ケア・障害 岸政彦・山根純佳・前田拓也 編
 - ⑨ 福祉・社会保障 筒井淳也・山根純佳・上村泰裕 編
 - ⑩ 家族・親密圏 筒井淳也・永田夏来・松木洋人 編
 - ⑪ 階層・教育 筒井淳也・相澤真一 編
 - ⑫ 文化・メディア 北田暁大・東園子 編
 - ⑬ 政治・社会運動 山根純佳・明戸隆浩・富永京子 編
- 白抜き数字は既刊
A5判 定価各3740円

第11巻

階層・教育

筒井淳也・相澤真一 編
格差の発見から、より現実を説明するメカニズムの解明へ。発展著しい「階層と教育」研究を総覧する。 定価3740円



装丁：鈴木成一 デザイン室

岩波講座 社会学 全13巻

【編集委員】北田暁大・岸政彦・筒井淳也・丸山里美・山根純佳 (内容案内進目)

岩波書店



〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋 2-5-5
www.iwanami.co.jp

生徒指導・教育相談を 基礎から分かりやすく説明!

教師を目指す人たちのための 生徒指導・教育相談



●A5判・216ページ
●定価2,640円(本体2,400円+税)
●ISBN: 978-4-7619-2992-3

教師を目指す人に 読んでほしい1冊!

生徒指導提要の2022年の改訂内容を意識しながら、教育相談や生徒指導の基礎、体制、実際について分かりやすく示しています。また、各章の最後では、章の内容に対する問い「考えてみよう」や関連書籍等の紹介「読んでみよう」を設けているので、新しい生徒指導について、より深く学ぶことができます。

編者 **望月 由起** (もちづき・ゆき)
日本大学文理学部教育学科教授
劉 麗鳳 (りゅう・れいほう)
日本大学文理学部教育学科助手

世界の学校の教育制度から 日常学校風景まで

世界の学校

グローバル化する教育と学校生活のリアル



●B5判・264ページ
●定価3,300円(本体3,000円+税)
●ISBN: 978-4-7619-2907-7

激動する世界の中で、 さまざまな知恵が 内在する 世界の学校を旅する。

世界の学校の教育制度から日常の学校風景までを1冊にまとめる「世界の学校」の3訂版。

今回の改訂では、31か国に取り上げる国数を増やし、より幅広く世界の学校を紹介する。

編者 **二宮 皓** (このみや・あきら)
広島大学名誉教授、
UMAP(アジア太平洋大学交流機構)
アンバサダー

詳しくは、こちらをクリックして「学事出版」ホームページをご覧ください。



学事出版

千代田区神田神保町1-2-5 和栗ハトヤビル3F TEL03-3518-9016 FAX03-0120-655-514

〈子ども学〉論集

●石黒万里子・青木研作・近藤清華 編著 定価2,200円

子ども学について研究するための多角的な視点やさまざまなアプローチに触れ、自身の問題関心と向き合うことをねらいとして構成された論文集。

児童養護施設の生活環境のダイナミクス

—家庭で暮らせない子どもの育ちと職員の実践

●山口季音 著 定価2,750円

児童養護施設における子どもの「育ち」、職員と相互に繋ぐ生活環境の実態に迫る。フィールドワーク調査から見えてきたものは、

明治前期における子どもの実態と教育

●田甫桂三 著 定価22,000円

明治前期における子どもの教育と実態を示す資料集。明治前期、特に明治5年「学制」公布頃までの、子どもや教育の実態を記述する。

教育の基礎と展開 第三版

—豊かな教育・保育のつながりをめざして

●高野良子・武内清 編著 定価2,310円

幼・保・小・連携時代を見すえた新しい「教育学テキスト」!保育士養成・教職課程用の教育原理等のテキストとして最適な一冊。時代に合わせ改訂した第三版。

ダイバーシティ時代の教育の原理 第二版

—多様性と新たなつながりの地平へ

●藤田由美子・谷田川ルミ 編著 定価2,420円

「ジェンダー」や「ダイバーシティ」視点から教育の歴史及び思想、教育の理念、現代の学校教育の諸課題について学びを深める。

新版 教育社会とジェンダー

●河野銀子・藤田由美子 編著 定価2,310円

私たちの世界にはどのようなジェンダー(社会的性)があるのか。LGBTの人々への視点を取り入れ新たに編まれた教育社会学テキスト。

学歴の専有と意味 —投資・身体化・文化圏

●黄順姫 著 定価2,750円

学歴を投資のみならず、身体化した学校文化圏としてとらえ、個人が学歴を取り、専有することの意味を問う。戦時期〜現代の学歴資本に対する包括的研究。

ブルデューの教育社会学理論

—教育システムと社会階級・社会秩序の再生産と変革の理論

●小澤浩明 著 定価3,740円

「権力と正統性の一般人間学」の基礎理論としての教育社会学理論を再構成し、新たなブルデューの教育社会学理論像を提示。

現代アメリカにみる「教師の効果」測定

—学力テスト活用による伸長度評価の生成と功罪

●西野倫世 著 定価4,950円

現代アメリカにおける学力テスト結果を通じた「教師の効果」測定に関する理論的実践的動向の統合的把握を試み、原理的な意義や課題を明らかにする。

批判的思考と道徳性を育む教室

—「論争問題」がひらく共生への対話

●ネル ノディングス・ローリー ブルックス 著/山辺恵理子 監訳/他訳 定価2,970円

答えの出ない「論争問題」を授業でどう扱い、どう子どもたちとともに考えていけばよいのか。対話が紡ぐ、共生への道。

未来の教育を創る教職教養指針

教育と社会

●油布佐和子 編著/山崎準二・高野和子 編集代表 定価2,420円

現代社会のあり様と教育との関係をどう捉えるか。さまざまな領域の実態と課題から教育・学校の実態をマクロ視点で捉える。

「学校教育と社会」ノート 第四版

—教育社会学への誘い

●山内乾史・武寛子 著 定価2,530円

教育社会学の視点から学校・大学と社会のかかわりについて分析。日本および先進諸国の事例を随時織り交ぜて行う。

月刊「教育展望」

毎月1日発行、A5判、64頁、定価493円（448円＋税）

2024年 特集

- 9月号 子どもの抱える困難と生徒指導
- 7・8月合併号 GIGAスクール構想と学びの姿
- 6月号 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の現在
- 5月号 地域とともにある学校づくり
- 4月号 社会の多様性と学校教育
- 3月号 学び合いのある豊かな授業づくり
- 1・2月合併号 子どものウェルビーイング、学校のウェルビーイング

2023年 特集

- 12月号 第52回教育展望セミナー テーマ別報告
- 11月号 第52回教育展望セミナー 全体会報告
- 10月号 発達障害の理解とその対応
- 9月号 主体的な学びを実現する自己調整能力について
- 7・8月合併号 日本の学校教育の現状と変革の方向性
- 6月号 子どもが主体の学びについて
- 5月号 教員の資質・能力の向上に向けて

「教育展望」臨時増刊

セミナー 研究討議資料

A5判、定価2619円（2381円＋税）

No.56 (第53回教育展望セミナー)

2024年7月発行、104頁

変革の時代の学校教育を展望するIV

―学習指導要領に基づく教育課程の実施状況と次期改訂に向けての提言―

No.55 (第52回教育展望セミナー)

2023年7月発行、104頁

変革の時代の学校教育を展望するIII

―子どもが主体的に学びを深めるための学習指導の在り方―

一般財団法人 教育調査研究所

〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館
TEL：03-3520-2970 FAX：03-5579-6574
E-Mail：chouken@estate.ocn.ne.jp

恒吉僚子・藤村宣之

四六判上製320頁税込3520円 ISBN978-4-326-29933-1

国際的に見る教育のイノベーション

日本の学校の未来を俯瞰する
―日本と海外の教育施策や授業実践について、特徴を捉え比較分析する。―

東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 編

A5判上製288頁税込3300円 ISBN978-4-326-25174-2

パネル調査にみる子どもの成長

―学びの変化・コロナ禍の影響
―
休校やICTの環境変化が子どもの生活や学びに与えた影響を分析。

石田浩・石田賢示 編著

A5判上製256頁税込3850円 ISBN978-4-326-60367-1

格差社会のセカンドチャンスを探して

―東大社研パネル調査にみる人生挽回の可能性
―
調査から教育・キャリア・メンタルヘルスの格差と挽回可能性を検証。

高橋靖幸

A5判上製448頁税込8800円 ISBN978-4-326-60368-8

児童虐待の歴史社会学

―戦前期児童虐待防止法成立過程にみる子ども観の変遷
―
明治から昭和初期に「児童虐待」概念が立ち上がる過程を資料より分析。

中西啓喜

四六判上製296頁税込3960円 ISBN978-4-326-29936-2

教育政策をめぐるエビデンス

―学力格差・学級規模・教師多忙とデータサイエンス
―
エビデンスに基づく教育政策の議論はなぜ難しいのか。事例を基に検討。

豊永耕平

A5判上製432頁税込5940円 ISBN978-4-326-25169-8

学歴獲得の不等

―親子の進路選択と社会階層
―
高校生とその親の調査から、教育選択の格差が生じるプロセスを解明。

数実浩佑

A5判上製240頁税込3960円 ISBN978-4-326-25168-1

学力格差の拡大メカニズム

―格差是正に向けた教育実践のために
―
「マタイ効果」を参照しつつ、学力格差の拡大メカニズムを分析する。

*表示価格は10%税込



けい そう 勁草書房

https://www.keisoshobo.co.jp

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 TEL 03-3814-6861 FAX 03-3814-6854

武井 哲郎・矢野 良晃・橋本 あかね 編著

不登校の子どもとフリースクール

持続可能な居場所づくりのために

156頁 2,200円

民間フリースクールが子どもの最善の利益を守りながら運営を続けるためには？
事業継続のための葛藤と格闘、現場の苦悩や失敗に学ぶ。



前田 麦穂 著

戦後日本の教員採用

試験はなぜ始まり普及したのか

192頁 4,180円

「倍率信仰」を問い直す「教員採用試験」の歴史社会学。
日本社会は「学校の先生」をどう選んできたのか。
教員採用試験という「当たり前」を問い直す。



妹尾 麻美 著

就活の社会学

大学生と「やりたいこと」

250頁 4,620円

なぜ大学生は「やりたいこと」や熱意を問われ、
語るようになっていくのか？労働市場媒介者が
果たす役割と大学生の状況の定義を明らかにし、
就職情報サービスと「就活」の仕組みを解明する。



第10回 日本教育社会学会奨励賞受賞

演 貴子 著

職業婦人の歴史社会学

320頁 7,370円

職業婦人と呼ばれた女性たちの実態・表象分析から、
ジェンダー秩序の形成と変容のプロセスを、
歴史社会学的に明らかにする。



都島 梨紗 著

非行からの「立ち直り」とは何か

少年院教育と非行経験者の語りから

240頁 4,070円

我々はどのような時に非行経験者が「立ち直った」
とみなすのか、17名の少年院経験者の語りを取り
取ることで彼らにとっての「良き人生」を検討する。



探究学習研究会・清水 優菜・村松 灯・田中 智輝・荒井 英治郎
大林 正史・松村 智史・古田 雄一・武井 哲郎・柏木 智子 編著

「探究学習」とはいうけれど

学びの「今」に向き合う

146頁 1,980円

探究学習に関する先生方の悩みや不安に対し答えを
示すことは難しいが、理論・データ・事例から
「探究学習」の本質に迫る。



晃洋書房

京都市右京区西院北矢掛町七番地
<https://www.koyoshobo.co.jp>

TEL 075 (312) 0788 / FAX 075 (312) 7447
※価格はすべて税込

教育の「いま」をつかむために。時事通信出版局の本

教育の「いま」をつかむための2冊が、
最新のキーワード&データを加えて、

5年ぶりの改訂最新版!

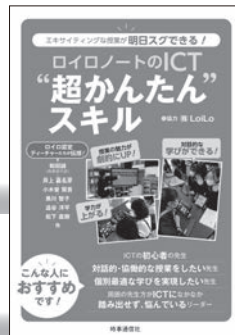
最新 教育キーワード 165のキーワードで押さえる教育

●A5版・345頁 定価：本体2,500円+税 ISBN：978-4-7887-1901-9



最新 教育データブック 123のデータで読み解く教育

●A5版・340頁 定価：本体3,200円+税 ISBN：978-4-7887-1902-6



日本の学校現場で最も使用されている
教育支援アプリの1つ「ロイロノート」の

活用法をたっぷり紹介!

エキサイティングな授業が明日スグできる!

ロイロノートのICT「超かんたんスキル」

●A5版・128頁 定価：本体1,800円+税 ISBN：978-4-7887-1852-4



理想の授業が明日スグできる!

ロイロノートのICT「超かんたんスキル」

令和の日本型学校教育編

●A5版・136頁 定価：本体1,800円+税 ISBN：978-4-7887-1879-1



時事通信出版局

〒104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル8F
tel.03-5565-2155 fax.03-5565-2168 <https://bookpub.jiji.com>

的確に社会を読みとり、課題に挑む

社会と調査

No.32 特集 社会と心の測定

- 心理測定の理論 清水裕士
- 社会調査における項目反応理論の応用 久保沙織
- 社会調査における測定の等価性 田崎勝也
- 評定尺度の反応ラベルの影響 稲増一憲
- 評定尺度の反応スタイルの推定 北條大樹
- 「わからない (Don't know)」選択のメカニズムとその対処法 善教将大

社会調査士資格認定機構 発足 20 周年記念座談会

社会調査の現状と課題——機構と協会の 20 年

..... 稲葉昭英・今田高俊・岩井紀子・近藤博之・盛山和夫・谷 富夫・吉野諒三

岩永雅也／関 駿平／中村健太／兼子良久／孫 詩瑛／熊谷信司／秋山道宏／多田光宏／吉武理大／山下拓海／呂 沢宇／渡戸一郎／荒牧草平／山崎敬一・山崎晶子／佐藤嘉倫／谷 富夫／長谷川公一／中澤 渉／穴戸邦章／神林博史／石田 浩／土屋 敦／伊藤理史／渡辺健太郎

発行・編集 一般社団法人 社会調査協会

東京都文京区本郷 5-25-18 エルスタンザ本郷東大前 3F

TEL: 03-6273-9784 FAX: 03-5684-0374

https://jasr.or.jp/

入会申し込みについては、本協会ホームページをご覧ください。

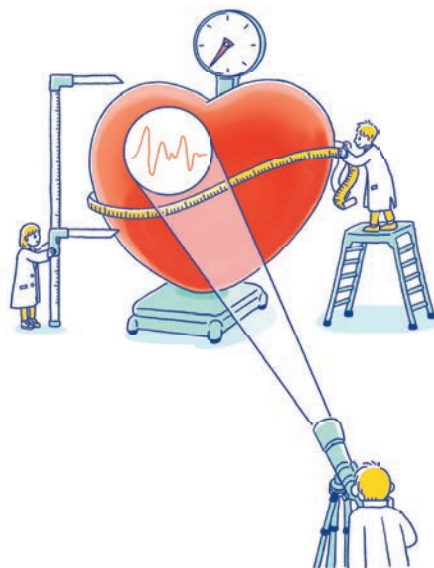
制作・販売 株式会社 京都通信社

京都市中京区室町通御池上る御池之町 309

TEL: 075-211-2340 Mail: shigotoba@kyoto-info.com

https://www.kyoto-info.com/

書店にない場合は、京都通信社までお問い合わせください。



定価 本体 1,200 円＋税

『社会と調査』は年2回発売(3月, 9月)

購入方法

1 研究室や図書館などでの定期購読をおすすめします。発売元の京都通信社にメールでお申し込みください。

2 個人購読は、もよりの書店を通じてお申し込みください。

※会員の方がたには、特典の1つとして無料配布しています。社会調査協会では販売を行っておりません。

教育学年報

第3期

知的で自由な対話を活性化し
教育研究を切り拓く

*最新刊8月末刊行

第15号

生涯学習

青木栄一 石井英真 下司 晶
仁平典宏 濱中淳子 丸山英樹 編

【既刊好評】

11 教育研究の新篇章

下司晶 丸山英樹 青木栄一 濱中淳子
仁平典宏 石井英真 岩下誠 編
5000円(484頁, 2019年刊)

12 国 家

青木栄一 丸山英樹 下司 晶 濱中淳子
仁平典宏 石井英真 編
3400円(328頁, 2021年刊)

13 情報技術・AIと教育

石井英真 仁平典宏 濱中淳子 青木栄一
丸山英樹 下司晶 編
3600円(344頁, 2022年刊)

14 公教育を問い直す

佐久間亜紀 石井英真 丸山英樹 青木栄一
仁平典宏 濱中淳子 下司晶 編
4600円(456頁, 2023年刊)

現代教育のシステム論
石戸典嗣
3500円
●ルーマンの構図

教育勅語と学校教育
日本教育学会教育勅語問題ワーキンググループ編
2400円
●教育勅語の教材使用問題を考えるか

都市に誕生した保育の系譜
福元真由美
3800円
●アンチエイジシニズムと郊外のユートピア

自然愛をめぐる教育の近代日本
林 潤平
3500円
●自然観の創出と変容の一系譜

中学中退
劉 麗鳳
3800円
●中国農村中学校の生徒と教師のエンゲラフイー

J・S・ミルの教育思想
高宮正貴
3500円
●自由と平等はいかに両立するのか

カリキュラム・学校・統治の理論
広瀬裕子 編
2200円
●ポスト・グローバル化時代の教育の枠組み

教育の世界が開かれるとき
何か教育学的思考を発動させるのか
4400円
●戦後の教育と教育学を包括的にマッピングできるグラウンド・セオリーはどこに? 変容しながら増殖する近代教育を捉えよう

矢野智司・井谷信彦 編
3600円
●「近代教育の思考法を問い直し、課題に感応する教育学的思考の新たな形を構築する試み」

現代ドイツの教育改革
「学校制度改革と「教育の理念」の社会的正統性」
3600円
●「教育の働き方」学校の運営「学校制度の構成」三つの位相において戦後ドイツの教育はどのように課題を抱え、改革を進めてきたか、改革過程を教育制度の理論として捉へ

赤本(一九三八)一九四二
内務省児童読物統制・佐伯郁郎とその朋友
3800円

是澤博昭
児童の文化統制から軍国少年少女を育成する少国民文化政策、推進した内務省官吏、児童文学者、心理学者、教育者たち「児童文化関係者の行動に迫る」
3800円

前原健二
「教育の働き方」学校の運営「学校制度の構成」三つの位相において戦後ドイツの教育はどのように課題を抱え、改革を進めてきたか、改革過程を教育制度の理論として捉へ

中嶋哲彦・広田照幸 編
執筆者：大橋基博・高橋 哲・田中真秀・中嶋哲彦・橋本尚美・浜田博文・広田照幸・前川喜平
1600円
●研究者からの提案 (全国の公立小学校教員の深刻な長時間勤務問題の解決案)

現代ドイツの教育改革
「学校制度改革と「教育の理念」の社会的正統性」
3600円
●「教育の働き方」学校の運営「学校制度の構成」三つの位相において戦後ドイツの教育はどのように課題を抱え、改革を進めてきたか、改革過程を教育制度の理論として捉へ

執筆者：秋田英康・朝岡 翔・池田華子・井谷信彦・岩井哲雄・辻 敦子・中村育子・広瀬悠三・藤井奈津子・宮崎康子・森田裕之・森 巨・門前斐紀・矢野智司・山内清郎・山本一成



世織書房

〒220-0042 横浜市西区戸部町7-240 文教堂ビル3階 TEL045-317-3176 / FAX045-319-0644

seori@nifty.com http://seorishobo.com

(税抜)



東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 共同研究

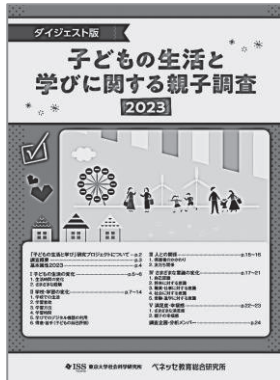
「子どもの生活と学び」研究プロジェクト



東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所は、「子どもの生活と学び研究プロジェクト」の一環として、2015年度から約2万組の小学1年生～高校3年生の親子を対象にした「子どもの生活と学びに関する親子調査」を実施しています。本調査は、同じ対象を継続的に追跡するパネル・データであるとともに、親子ペアで回答してもらうダイアド・データでもあるという、他に類のない特徴を有しています。

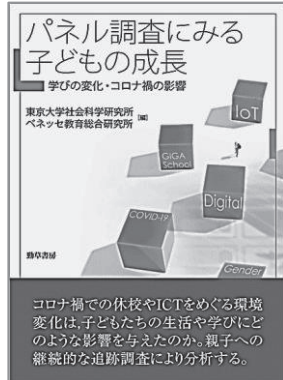
調査結果

2015年度から23年度までの調査結果をHPで公開



書籍 勁草書房より刊行

パネル調査にみる子どもの成長
学びの変化・コロナ禍の影響



ローデータ公開中

2015年度から21年度に取得した複数のデータを、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターで公開中。同センターに申請することで、研究や教育目的で利用できます。



公開中のデータ

- 子どもの生活と学びに関する親子調査
 - ・小1～3の保護者、小4～高3の子どもと保護者
 - ・日々の生活、学習、人間関係・価値観を調査
- 高校生活と進路に関する調査
 - ・高3の子ども(卒業時の3月に実施)
 - ・進路選択の振り返りと卒業後の進路を調査
- 語彙力調査・読解力調査
 - ・小3・6・中3・高3(語彙力)、中3・高3(読解力)
 - ・IRTにより一元化された尺度で調査

ベネッセ教育総合研究所 <https://benesse.jp/berd/>



有斐閣 出版案内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17

<https://www.yuhikaku.co.jp/>

表示価格は税込

これからの教育社会学

相澤真一・伊佐夏実・内田良・徳永智子 著 y-knot 四六判
さまざまな課題を社会学の知識や概念で見直す。定価2310円

新・教育の社会学

(常識)の問い方、見直し方

荻谷剛彦・濱名陽子・木村涼子・酒井朗 著 有斐閣アルマ
教育にかかわる問題を網羅して解説。四六判 定価2530円

これからの教育学

神代健彦・後藤篤・横井夏子 著 y-knot 四六判
問いを立て、探究する「教育学的思考」を促す。定価2090円

社会学の基礎

松本康 監修/小池靖・貞包英之 編 A5判
スタンダードな社会学教育を一冊で。定価2640円

内申書を問う

田中耕治・西岡加名恵 編 四六判 定価2970円
教育評価研究からみた内申書問題

社会学の歴史II

他者への想像力のために 奥村隆 著 有斐閣アルマ 四六判 定価2860円
私たちがいま直面する「社会という謎」を考えるために。

モビリティーズの社会学

吉原直樹・飯笹佐代子・山岡健次郎 編 A5判
新刊 「移動」研究の知的編成を問い直す。定価3850円

挑戦するフェミニズム

上野千鶴子・江原由美子 編 有斐閣アルマ
ネオリベリズムとグローバリゼーションを超えて A5判 予定価3080円
新刊 何と格闘し、何を獲得してきたのか。第一線の研究者が集結。

